

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語

科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1. 2. 3. 8 組：竹内）（4. 5. 6. 7 組：倉部）

使用教科書：（『論理国語』 大修館書店）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う【思考力、判断力、表現力等】力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語【学びに向かう力、人間性等】文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			語	聞	書					
1 学 期	単元 言語の探究 人を指す言葉 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「人を指す言葉」 鈴木孝夫 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
	単元 コミュニケーションの手段 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「ネットワーク上のコミュニケーション」 江下雅之 ・一人1台端末の活用 等	○	○		知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

2 学 期	単元 言語の探究 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 共感覚と比喩 山梨正明 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めるている。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	8
	単元 政治と社会 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「多数決を疑う」坂井豊貴 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めるている。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	単元 メディアの変容 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 筆者の提案する主張について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 ポスト真実時代のジャーナリズム 国谷裕子 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	8
	単元 環境へのまなざし 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 筆者が考察した考えについて、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 リスク社会としての現代 大澤真幸 ・一人1台端末の活用 等	○	○	知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1

[illegible]

上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理探究

教 科： 地理歴史科 科 目： 地理探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 5 組 （必修選択）

教科担当者： 田部井

使用教科書：（『新詳 地理探究』（帝国書院））

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】地図や地理情報システムに関わる技能を習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】地理的な見方・考え方を働かせながら学習内容をまとめたり、説明したり、発表したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地球的課題に対する世界の現状をとらえ、様々な課題を身近なものとしてとらえる力をつける。

科目 地理探究 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理的環境の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、地理的な諸課題の形成に関わる現代の地理的な見方・考え方を理解する。 技能：諸資料から地理的事象に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	地理的環境や人々の生活に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的事象に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理的環境や人々の生活の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の地理的認識を深めながら、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	●自然環境 【知識及び技能】地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・地形、気候、日本の自然環境、地球環境問題について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識及び技能】地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	●資源・産業 【知識及び技能】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や資源・エネルギー、食料問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】資源・エネルギーや農業、工業など結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・農林水産業、食料問題、エネルギー・鉱産資源、資源・エネルギー問題、工業、第3次産業について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	●資源・産業 【知識及び技能】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や資源・エネルギー、食料問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】資源・エネルギーや農業、工業など結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	●交通・通信と観光、貿易 【知識及び技能】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や交通・通信、観光に関する問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・交通・通信、観光、貿易と経済圏について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	●交通・通信と観光、貿易 【知識及び技能】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や交通・通信、観光に関する問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	●人口、村落・都市 【知識及び技能】人口、村落・都市などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や人口、居住・都市問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・人口、人口問題、村落と都市、都市・居住問題について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	●人口、村落・都市 【知識及び技能】人口、村落・都市などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や人口、居住・都市問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	●生活文化、民族・宗教 【知識及び技能】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・衣食住、民族・宗教と民族問題、国家の領域と領土問題について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	●生活文化、民族・宗教 【知識及び技能】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	

2 学 期	民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球的課題や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力。人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。		に着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球的課題や動向などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【学びに向かう力。人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	●現代世界の諸地域 【知識及び技能】現代世界の諸地域を基に、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。それらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力。人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・中国、韓国、ASEAN諸国、インド、西アジア・中央アジア、アフリカ、EU諸国、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、オーストラリア・ニュージーランドについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	●現代世界の諸地域 【知識及び技能】現代世界の諸地域を基に、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。それらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【学びに向かう力。人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	

	定期考查			○	○		1
3 学 期							
	定期考查			○	○		1
							5

年間授業計画

上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 倫理

教科 公民

科目 倫理

単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年

組

教科担当者 石浦

使用教科書 （ 詳述倫理（実教出版） ）

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 解をよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民と

科目 倫理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養う。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	青年期の課題と自己形成 ・青年期の意義 ・青年期の課題と生き方 人間としての自覚 ・人間とは何か	・自己がおかれた現在の状況をおさえ、人生における青年期の位置づけや特徴について考える。 ・青年期特有の課題であるモータリウムとしての時期や、自我のめざめについて学ぶ。 ・青年期の発達課題であるアイデンティティの確立について理解を深め、自己実現の追求、自己理解の方法などについて学び、自己にとつての真の幸福や生きがいについて考える。 ・人間の定義としての考え方、パスカルの言葉を手掛かりに先人の思想を学ぶ意義について理解する。	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養うことができる。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。			○	4	
	定期考査	・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム	・ギリシア思想の特徴を、古代ギリシアの政治・社会のあり方に関する基本的な歴史的知識とともに、神話の世界観と比較しながら理解し、自然哲学者、ストア派、ソクラテス、プラトン、アリストテレス、ヘレニズムの思想を中心に理解する。また、その思想の展開について学ぶ。 ・古代ユダヤ教やキリスト教の成立と中世までの発展過程について、基本的な歴史的知識とともに理解させる。一神教や啓示宗教の特徴、イエスの言行、世界宗教としてのキリスト教の特徴などを理解する。 ・イスラームの成立と発展過程について、イスラーム成立以前のアラビア社会のあり方などを含めた基本的な歴史的知識とともに理解し、その特徴や、ユダヤ教・キリスト教との共通点・相違点、現代社会への影響などを理解する。	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養うことができる。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。			○	6
	定期考査	・仏教 ・中国思想 ・日本人としての自覚（日本の仏教思想、儒教の受容と朱子学、日本陽明学、日本的儒学の形成、民衆の思想	・仏教の成立と発展過程について、仏教成立以前のインド社会のあり方などを含めた基本的な歴史的知識とともに理解し、ウパニシャド哲学、ジャイナ教、ブッダの生涯と思想、上座部、大乘仏教、ヒンドゥー教を中心にその特徴について理解する。 ・我が国における仏教の受容について、聖徳太子による仏教導入、国家仏教の成立、日本独自の仏教の発展、民衆の暮らしと仏教のかかわりなどについて知る。 ・平安仏教における最澄と空海の思想の相違や、鎌倉新仏教における浄土宗と禅宗の相違について学ぶ。 ・「古事記」といった我が国独自の古典の研究を基礎として江戸時代に発展した国学の成り立ちについて知る。 ・我が国における国学の発展について、實業家による万葉集の研究や本居宣長による古事記の研究を中心に、「もののあはれ」や「真心」を重視した人間の在り方生き方について理解する。 ・我が国における近代化の特徴について、西洋文化の受容という観点から、福沢諭吉の『西洋事情』、内村鑑三の『二つの』などの考え方について理解する。 ・新渡戸稲造の『武士道』や夏目漱石の『自己本色』の考え方を事例として、国際社会に生きる日本人としての在り方や日本人としてのアイデンティティについて説明でき	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養うことができる。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。			○	1
	定期考査	・国学の形成 ・幕末の思想 ・西洋思想の受容と展開	・仏教や儒教のような外来思想に対して、「万葉集」や「古事記」といった我が国独自の古典の研究を基礎として江戸時代に発展した国学の成り立ちについて知る。 ・我が国における国学の発展について、實業家による万葉集の研究や本居宣長による古事記の研究を中心に、「もののあはれ」や「真心」を重視した人間の在り方生き方について理解する。 ・我が国における近代化の特徴について、西洋文化の受容という観点から、福沢諭吉の『西洋事情』、内村鑑三の『二つの』などの考え方について理解する。 ・新渡戸稲造の『武士道』や夏目漱石の『自己本色』の考え方を事例として、国際社会に生きる日本人としての在り方や日本人としてのアイデンティティについて説明でき	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養うことができる。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。			○	7
	定期考査						○	1
2 学 期	現代に生きる人間の倫理 ・民主社会の形成 ・人格の尊厳 ・個人と社会の調和 ・社会の進歩と改善 ・社会の変革 ・主体性の自覚	・ホッブズ、ロック、ルソーの三つの社会契約論について、国家（政府）の成り立ちや個人の権利についての考え方の相違に着目し、社会と個人のかわりに焦点を当てて理解する。 ・社会を形成した人々の考え方、モリス、カントの思想等を体系的に例示して、近代的な個人を特徴付ける自由に対する意識及び個人の尊厳について説明できる。 ・ベントナムや、S.ミルが功利主義の考え方を提唱し、「最大多数の最大幸福」を追求することで市民社会の諸矛盾を解決しようとしたことを理解する。 ・ヘーゲルやマルクス、功利主義の思想家などが、近代市民社会の諸矛盾を解決するために打ち立てた思想や考え方について、当時の社会状況を踏まえて説明できる。 ・セルムの『アン・イン・ザ・フェイス・オブ・ザ・フェイス』の要旨を述べ	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養うことができる。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。				14	
	定期考査						1	
	現代の課題への反省 ・現代の課題を考える ・総合学習	・人間や社会のあり方の急激な変化による近代的な理性への問い直しとして、実存哲学、フランクフルト学派、構造主義、分析哲学、ポスト構造主義など現代思想の人間観を理解し、自己の生き方・あり方や望ましい社会のあり方について考える。 ・今日の生命や死、医療の問題などについて理解を深め、よりよい生き方や、よりよくともに在る社会について考えさせる。 ・今までの学習を踏まえ、大学入学共通テストや私大入試に対応できる学力を身に付ける。	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養うことができる。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。				○	14

年間授業計画

上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科 目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1～8 組

教科担当者：三井・伊藤

使用教科書：（ 高等学校 政治・経済（第一学習社） ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	戦後政治・経済史について歴史総合を補完する知識を養成する。 （教科書第1編第2章の探究的な学習で理解を深める）	戦後の独立から55年体制の成立、自民党の長期政権、55年体制の崩壊、現在までを知識整理する。復興期から高度経済成長期、バブルとその崩壊、今日までの社会の変容、為替や国際貿易の基礎について理解し現代の事象を考察する。	【知識・理解】定期考査の基本的問題で評価する。【思考力・判断力】授業での資料問題の理解および定期考査の思考力問題で評価する。【主体的】学期に2回の提出物、日頃の授業の取り組みで評価する。	○	○	○	4
	日本国憲法と現代政治のあり方Ⅰ （教科書第1編第2章の探究的な学習で理解を深める）	立憲主義 憲法の最高法規性 日本国憲法の基本原理などを正しく理解する。現代の憲法をめぐる諸問題について考察する。	【知識・理解】定期考査の基本的問題で評価する。【思考力・判断力】授業での資料問題の理解および定期考査の思考力問題で評価する。【主体的】学期に2回の提出物、日頃の授業の取り組みで評価する。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	日本国憲法と現代政治のあり方Ⅱ （教科書第1編第2章の探究的な学習で理解を深める）	日本国憲法の人権規定について理解するとともに、具体的な判例や社会の事象で思考力を養う。日本の統治機構について理解し、その課題について考察することができる。	【知識・理解】定期考査の基本的問題で評価する。【思考力・判断力】授業での資料問題の理解および定期考査の思考力問題で評価する。【主体的】学期に2回の提出物、日頃の授業の取り組みで評価する。	○	○	○	7
	日本の安全保障と国際貢献Ⅰ （教科書第2編第2章の探究的な学習で理解を深める）	日本国憲法の平和主義の理念を歴史をふまえて理解する。我が国の防衛政策の基本について知る。そのことから今日の平和を考える基礎を養う。日米安保体制について知識を深める。	【知識・理解】定期考査の基本的問題で評価する。【思考力・判断力】授業での資料問題の理解および定期考査の思考力問題で評価する。【主体的】学期に2回の提出物、日頃の授業の取り組みで評価する。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	○日本の安全保障と国際貢献Ⅱ （教科書第2編第2章の探究的な学習で理解を深める） ○市場経済の機能	○冷戦後の国際情勢や我が国の国際貢献のあり方について考える上での基本的知識を養う。 ○経済活動の主体 市場機構の仕組み 経済指標の基礎 物価と景気など経済の基本的事項の理解を深めることで現実の経済的事象を考察する。	【知識・理解】定期考査の基本的問題で評価する。【思考力・判断力】授業での資料問題の理解および定期考査の思考力問題で評価する。【主体的】学期に2回の提出物、日頃の授業の取り組みで評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	○財政・金融問題の基礎 ○経済活動と福祉 ○国際社会の変遷と国際機構 など （教科書第1編第2章第2編第2章で探究的な学習で理解を深める）	○2年次の公共で既習の財政の働きと租税の復習 ○金融の働きと金融政策を理解し現実の政策を考察する ○社会保障制度の仕組みを理解し現代社会を考察する ○冷戦後の国際社会の現状と地域紛争、国際機構の働きについて考察を深める	【知識・理解】定期考査の基本的問題で評価する。【思考力・判断力】授業での資料問題の理解および定期考査の思考力問題で評価する。【主体的】学期に2回の提出物、日頃の授業の取り組みで評価する。	○	○	○	14

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅲ

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組 （4組を除く）

教科担当者： （12組：二見彰彦） （3組：佐藤東） （5組：高橋智朗）

使用教科書： （ 高等学校数学Ⅲ～数研出版 ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第3章 微分法 第1節 導関数 微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。	・指導事項 微分係数と導関数 導関数の計算 ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○定義にしたがって微分係数を求めることができる。 ○導関数を、微分係数を与える関数として理解している。 ○定義にしたがって導関数を求めることができる。 ○積の導関数の公式を適用して、関数を微分できる。 ○商の導関数の公式を適用して、関数を微分できる。 ○合成関数の導関数を求めることができる。 ○逆関数の微分法を用いて、導関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○連続性が微分可能性の必要条件であるが十分条件ではないことを具体的な関数を用いて考察できる。 ○これまで学んだ公式を用いて、新たな公式を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○連続であっても微分可能でない関数が存在することに興味をもつ。 ○ $(x^a)'=ax^{a-1}$ において、 a の範囲が自然数、整数、有理数と拡張されていくことに興味をもち、その展開について理解を深めようとする。	○	○	○	9
	第2節 いろいろな関数の導関数 導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 いろいろな関数の導関数 第n次導関数 曲線の方程式と導関数 ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○三角関数、指数・対数を含む関数の微分ができる。 ○対数微分法を用いて複雑な関数を微分することができる。 ○高次導関数の定義や表記を理解し、種々の関数の高次導関数を求めることができる。 ○方程式 $F(x, y)=0$ を関数(陰関数)とみる考え方を理解している。 ○方程式 $F(x, y)=0$ を関数(陰関数)とみて微分することができる。 ○媒介変数 t で表された関数の導関数を、 t を用いて表すことができる。 【思考・判断・表現】 ○ $\log x $ の導関数について、それを考える理由とともに理解し、導関数の計算ができる。 ○第2次、第3次導関数などを求めることで、一般の第 n 次導関数を求めることができる。 ○陰関数表示 $F(x, y)=0$ を、陽関数表示 $y=f(x)$ としなくても微分できることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ $(1+k)^{1/k}$ が $k\rightarrow 0$ のときどのような値に近づいていくかに興味をもち、その値や性質について自ら調べようとする。 ○自然対数の底 e の値について、指数関数のグラフの接線の傾きという観点から見直そうとする。 ○陰関数の微分や媒介変数表示された関数の微分について、その簡便さを理解し、積極的に利用しようとする。	○	○	○	9
	第4章 微分法の実用 第1節 導関数の応用 導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	・指導事項 接線の方程式、平均値の定理 関数の値の変化、関数のグラフ ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○微分係数の意味を理解しており、曲線の接線の方程式を求めることができる。 ○曲線の法線の方程式を求めることができる。 ○平均値の定理の図形的な意味を理解している。 ○導関数を用いて関数の増減、極値を調べることができる。 ○関数の極値を与えられたとき、関数を決定することができる。 ○関数の増減を調べて、最大値、最小値を求めることができる。 ○第2次導関数の図形的な意味を理解し、曲線の凹凸や変曲点を調べることができる。 【思考・判断・表現】 ○陰関数の微分を活用して、接線の方程式を求めることができる。 ○平均値の定理を用いた不等式の証明ができる。 ○微分可能でない点でも関数が極値をもつことがあることを理解し、定義をもとに極値を求めることができる。 ○増減や凹凸、漸近線などを調べて、関数のグラフをかくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○接線や法線の方程式を、様々な導関数を活用して求めようとする。 ○存在定理である平均値の定理について、その意味を理解し、 e の値を具体的に求めることで確かめようとする。 ○関数の増減の様子を調べるのに、導関数を積極的に活用しようとする。また、導関数だけでなく連続性や微分可能性、極値の定義などにも注意して、増減を丁寧に調べようとする。 ○関数のグラフの様々な形に興味をもち、様々な方法でそれ	○	○	○	15
	第2節 いろいろな応用 関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動	・指導事項 方程式・不等式への応用 速度と加速度、近似式 ・教材	【知識・技能】 ○第2次導関数と極値の関係を理解している。 ○平面上を運動する点の速さと加速度の大きさを求めることができる。 ○微分係数の意味とその図形的な意味から、関数の近似式について理解し、近似式を作ることもができる。				

1 学 期	や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する姿勢を育てる。	教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【思考・判断・表現】 ○不等式を開数の値域の条件として捉え、関数の増減を用いて不等式の証明ができる。 ○方程式の解を開数のグラフの交点として捉え、グラフを用いて方程式の解について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○不等式を開数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。 ○点の運動の考察に微分法を活用できることに興味をもち、様々な点の運動について調べようとする。 ○導関数を利用して、1次の近似式を考察しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分 様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。	・指導事項 不定積分とその性質 置換積分法と部分積分法 いろいろな関数の不定積分 ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○不定積分の意味について、積分定数も含めて理解している。 ○関数 x^{α} の不定積分を求めることができる。 ○三角関数や指数関数の不定積分を求めることができる。 ○ $f(ax+b)$ の不定積分を求めることができる。 ○合成関数の微分の逆演算として置換積分法を理解し、正しく適用できる。 ○積の微分の逆演算として部分積分法を理解し、不定積分を求めることができる。 ○部分積分法を用いて、対数関数の不定積分を求めることができる。 ○不定積分の公式が適用できるように式変形を工夫して、分数関数の不定積分を求めることができる。 ○不定積分の公式が適用できるように三角関数を適切に変形して、不定積分を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○定数倍および和、差の不定積分の公式が適用できるように式を適切に変形できる。 ○ $f(g(x)) \cdot g'(x)$ の関数の形に着目して式を見たり変形したりすることで、不定積分の計算ができる。 ○部分積分法を用いるとき、どの関数を $f(x)$ 、 $g(x)$ と考えるか、適切に判断できる。また、その根拠を説明できる。 ○部分分数に分解する方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○積分法が微分法の逆演算であることから、様々な関数の不定積分を求めようとする。 ○簡単には不定積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとする。 ○三角関数の積を和や差の形にすることに興味をもち、その変形に用いる公式を導こうとする。	○	○	○	20
	第2節 定積分 様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 定積分のいろいろな問題 ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○定積分は関数のグラフと x 軸の間の面積を表すことを理解している。 ○定積分の定義や性質を理解し、不定積分をもとに定積分を求めることができる。 ○定積分の置換積分法では、積分区間の変化に注意して計算できる。 ○三角関数で置換する置換積分法を用いて定積分を計算できる。 ○偶関数、奇関数の定義を理解している。 ○定積分の部分積分法を理解し、それを利用して定積分を計算できる。 ○上端が x である定積分を、 x で微分することができる。 ○数列の和の極限を定積分を用いて求めることが○関数の大小と定積分の大小の関係 を用いたり、定積分を図形の面積とみたりすることで、不等式の証明ができる。 【思考・判断・表現】 ○絶対値を含む関数の定積分を、積分区間を分けて求めることができる。 ○ $\sqrt{a^2 - x^2}$ の定積分について、円の面積と関連付けて考察できる。 ○偶関数、奇関数の性質を用いて定積分の計算が効率的にできる。 ○上端、下端に x を含む定積分を、 x の関数と捉えて問題を解決できる。 ○定積分は定数であることを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 ○区分求積法について理解し、長方形の作り方を変えた場合などについても考察、説明ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○定積分を面積と関連付けて理解を深めようとする。 ○簡単には定積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとする。 ○ $e^x \cdot \sin x$ の定積分に部分積分法を用いると同じ定積分が再び出てくことに興味をもち、その計算方法を考察しようとする。 ○ $\sin nx$ の定積分に部分積分法を用いると漸化式が導かれることに興味をもち、その計算方法や計算結果について考察しようとする。 ○曲線で囲まれた部分の面積を、細長い長方形の面積の和の極限と捉えることに興味をもち、定積分と数列の和の極限との関係を考察しようとする。	○	○	○	20
	第3節 積分法の実用 定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。	・指導事項 面積、体積、道のり、曲線の長さ ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○定積分を用いて図形の面積を求めることができる。 ○曲線 $x=g(y)$ 、 $F(x, y)=0$ で表される曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 ○定積分で体積が求められる仕組みを、区分求積法で面積が求められることと関連付けて理解している。 ○ x 軸、 y 軸周りの回転体の体積を求めることができる。 ○数直線上で運動する点の座標や通過した道のりを、定積分を用いて求めることができる。 ○座標平面上で運動する点の通過する道のりを、定積分を用いて求めることができる。 ○媒介変数表示された曲線の長さを、座標平面上で点が通過した道のりと関連させて理解している。 ○媒介変数表示された曲線の長さを求めることができる。 ○曲線 $y=f(x)$ の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○媒介変数表示された曲線で囲まれた図形の面積を、置換積分法を活用して求めることができる。 ○立体の断面がどのような図形になるか考え、定積分を用いて体積を求めることができる。	○	○	○	15

			○$F(x, y)=0$で表される曲線や媒介変数表示された曲線で囲まれる図形を回転させてできる回転体の体積を求めることができる。 ○数直線上を運動する点が通過する道のりについて、$v-t$ グラフで囲まれた部分の面積と関連付けて考察できる。 ○曲線 $y=f(x)$ は $x=t, y=f(t)$ と媒介変数表示することで、曲線 $y=f(x)$ の長さを求められることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○図形の面積を求めるとき、グラフの位置関係などを、図をかいて把握しようとする。 ○面積を求める際、対称性に着目して、計算を効率的に行おうとする。 ○定積分を用いると、既習の三角錐や円錐の体積、球の体積の公式が導けることに興味をもち、積極的に考察しようとする。 ○点の運動の考察に定積分を活用できることに興味をもち、様々な点の運動について調べようとする。 ○曲線上の点が通過する道のりを、その曲線の長さで捉えることに興味をもち、理解を深めようとする。	○	○	○	42
	定期考査			○	○		1
2 学 期	数学Ⅲ 総合演習 初見の問題に対し、既習知識を活用して解決に向かう姿勢を養い、入試問題に対峙できる能力を身につける。	・指導事項 数学Ⅲの入試問題演習 ・教材 入試問題集、参考書、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○体系的に学んだことを活用し、問題を解決することが出来る。 ○公式を利用し、問題を解くことが出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ○問題に応じて、図を活用しながら問題を考えていくことができる。 ○別解を模索し、図的アプローチで問題を解決することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○答えの○×だけに注目せず、プロセスを大事に問題を解こうとする。 ○模範解答・解説にない方法で解こうとする。	○	○	○	42
	定期考査			○	○		1
	数学Ⅲ 総合演習 初見の問題に対し、既習知識を活用して解決に向かう姿勢を養い、入試問題に対峙できる能力を身につける。	・指導事項 数学Ⅲの入試問題演習 ・教材 入試問題集、参考書、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○体系的に学んだことを活用し、問題を解決することが出来る。 ○公式を利用し、問題を解くことが出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ○問題に応じて、図を活用しながら問題を考えていくことができる。 ○別解を模索し、図的アプローチで問題を解決することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○答えの○×だけに注目せず、プロセスを大事に問題を解こうとする。 ○模範解答・解説にない方法で解こうとする。	○	○	○	42
	定期考査			○	○		1
3 学 期	数学Ⅲ 総合演習 初見の問題に対し、既習知識を活用して解決に向かう姿勢を養い、入試問題に対峙できる能力を身につける。	・指導事項 数学Ⅲの入試問題演習 ・教材 入試問題集、参考書、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○体系的に学んだことを活用し、問題を解決することが出来る。 ○公式を利用し、問題を解くことが出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ○問題に応じて、図を活用しながら問題を考えていくことができる。 ○別解を模索し、図的アプローチで問題を解決することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○答えの○×だけに注目せず、プロセスを大事に問題を解こうとする。 ○模範解答・解説にない方法で解こうとする。	○	○	○	
							合計
							185

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教 科： 数学 科 目： 数学C 単位数： 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （佐藤東、二見彰彦、高橋智朗

使用教科書： （ 高等学校数学C～数研出版、FocusGold数学Ⅲ+C～啓林館 ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第3章 複素数平面 複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察するとともに、図形の考察に複素数の計算を活用できるようにする。	・指導事項 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形 ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○共役複素数の性質を理解し、用いることができる。 ○複素数の極形式について理解し、複素数を極形式で表すことができる。 ○極形式で表された複素数の積と商を求めることができる。 ○複素数の積や商について、絶対値と偏角だけに注目した性質を理解している。 ○複素数の積や商が複素数平面上で何を表すか理解している。 ○ド・モアブルの定理を理解し、複素数の n 乗を求めることができる。 ○1の n 乗根を求めることができる。 ○原点以外の点を中心として回転した点を表す複素数を求めることができる。 ○複素数平面上で半直線のなす角を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○1つの複素数が複素数平面上で1つの点を表すことを理解し、点を複素数平面上に表すことができる。 ○複素数の和、差を複素数平面上に図示できる。 ○複素数の積の図形的な意味を活用して、正三角形の頂点となる複素数を求めることができる。 ○複素数の n 乗根がちょうど n 個存在することを、極形式を用いて考察できる。 ○1の n 乗根の求め方をもとに、一般の複素数の n 乗根を求めることができる。 ○線分の内分点を表す複素数を活用して、線分の内分点や外分点を表す複素数や三角形の重心を表す複素数を求めることができる。 ○複素数平面上における半直線のなす角や線分の長さを利用して、三角形の形状について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○複素数 z が実数や純虚数になる条件について、様々な方法で考察しようとする。 ○複素数の積の図形的な意味から、ド・モアブルの定理を自ら見出したり証明したりしようとする。 ○図形の問題を、複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察しようとする。 ○複素数平面上の三角形の形状が1つの複素数で決定されることに興味をもち、三角形の形状を調べようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 放物線、楕円、双曲線の定義や性質を理解し、それらを図示したり、問題の解決に活用したりできるようにする。また、離心率を用いて2次曲線を統一的に捉えられるようにする。	・指導事項 放物線、楕円、双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 2次曲線の性質 ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○放物線が、焦点と準線からの距離が等しい点の軌跡であることを理解している。 ○放物線の標準形について理解し、放物線の概形をかいたり焦点や準線を求めたりできる。また、条件から放物線の方程式を求めることができる。 ○ y 軸が軸となる放物線の概形をかくことができる。 ○楕円が、2つの焦点からの距離の和が一定である点の軌跡であることを理解している。 ○楕円の標準形について理解し、楕円の概形をかいたり焦点や長軸、短軸の長さを求めたりできる。 ○焦点が y 軸上にある楕円の概形をかいたり、焦点や長軸、短軸の長さを求めたりできる。 ○双曲線が、2つの焦点からの距離の差が一定である点の軌跡であることを理解している。 ○双曲線の標準形について理解し、双曲線の概形をかいたり焦点や頂点、漸近線を求めたりできる。 ○焦点が y 軸上にある双曲線の概形をかいたり、焦点や頂点、漸近線を求めたりできる。 ○ x, y の2次式を変形して、2次曲線の概形を考えることができる。 ○2次曲線の接線の方程式の一般形について理解し、接点が与えられたときに接線を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○軌跡の考え方を用いて、放物線・楕円の方程式を導くことができる。 ○曲線 $F(x-p, y-q)=0$ は曲線 $F(x, y)=0$ を平行移動したものであることを理解している。 ○2次曲線と直線の共有点を連立方程式の解と捉え、共有点の個数について考察できる。 ○2次曲線と直線の接点を連立方程式の重解と捉え、接線の方程式を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○放物線を、条件を満たす点の軌跡として捉えなおそうとする。 ○焦点が y 軸上にある楕円の方程式について、焦点が x 軸上にある楕円をもとに考察しようとする。 ○双曲線の漸近線について、曲線が限りなく近づくことを確	○	○	○	6

			かめようとする。 ○中学で学んだ反比例のグラフが双曲線であることに興味をもち、双曲線の定義を満たしていることを確かめようとする。 ○複雑な方程式で表される2次曲線について、平行移動の考えを利用して調べようとする。				
	第2節 媒介変数表示と極座標 曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解し、様々な曲線の媒介変数表示について考察できるようにする。また、極座標の仕組みについて理解し、図形を極方程式で表したり、極方程式が表す図形を求めたりできるようにする。さらに、コンピュータを用いるなどして、様々な曲線についてその方程式や概形について、主体的に考察しようとする姿勢を養う。	・指導事項 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○媒介変数表示された曲線の方程式を求めることができる。 ○円や楕円を媒介変数表示できる。 ○双曲線を媒介変数表示できる。 ○点の座標について、直交座標と極座標を相互に変換できる。 ○簡単な曲線を極方程式で表すことができる。 ○平面上の曲線について、x, y の方程式と極方程式を相互に変換できる。 ○媒介変数表示された曲線や極方程式で表される曲線を、コンピュータを用いて描くことができる。 【思考・判断・表現】 ○条件から点の座標を1つの文字で表し、それを曲線の媒介変数表示と捉えることで、その点が描く曲線を求めることができる。 ○媒介変数表示された曲線の平行移動について、点の平行移動をもとに考察できる。 ○円について、既に学んだ三角関数による方法以外の方法での媒介変数表示について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○曲線の媒介変数表示について、具体的に点をプロットしていくことで、どのような曲線か考察しようとする。 ○双曲線の媒介変数表示について、具体的に確かめようとする。 ○サイクロイドについて、具体的な点をプロットするなどして、媒介変数表示や曲線の概形を考察しようとする。 ○媒介変数を用いて表される様々な曲線に興味をもち、その概形などを調べようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	数学C 総合演習 初見の問題に対し、既習知識を活用して解決に向かう姿勢を養い、入試問題に対峙できる能力を身につける。	・指導事項 数学Cの入試問題演習 ・教材 入試問題集、参考書、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○体系的に学んだことを活用し、問題を解決することが出来る。 ○公式を利用し、問題を解くことが出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ○問題に応じて、図を活用しながら問題を考えていくことができる。 ○別解を模索し、図的アプローチで問題を解決することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○答えの○×だけに注目せず、プロセスを大事に問題を解こうとする。 ○模範解答・解説にない方法で解こうとする。				15
	定期考査			○	○		1
	数学C 総合演習 初見の問題に対し、既習知識を活用して解決に向かう姿勢を養い、入試問題に対峙できる能力を身につける。	・指導事項 数学Cの入試問題演習 ・教材 入試問題集、参考書、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○体系的に学んだことを活用し、問題を解決することが出来る。 ○公式を利用し、問題を解くことが出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ○問題に応じて、図を活用しながら問題を考えていくことができる。 ○別解を模索し、図的アプローチで問題を解決することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○答えの○×だけに注目せず、プロセスを大事に問題を解こうとする。 ○模範解答・解説にない方法で解こうとする。				15
	定期考査			○	○		1
3学期	数学C 総合演習 初見の問題に対し、既習知識を活用して解決に向かう姿勢を養い、入試問題に対峙できる能力を身につける。	・指導事項 数学Cの入試問題演習 ・教材 入試問題集、参考書、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○体系的に学んだことを活用し、問題を解決することが出来る。 ○公式を利用し、問題を解くことが出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ○問題に応じて、図を活用しながら問題を考えていくことができる。 ○別解を模索し、図的アプローチで問題を解決することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○答えの○×だけに注目せず、プロセスを大事に問題を解こうとする。 ○模範解答・解説にない方法で解こうとする。	○	○	○	
							合計

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学 単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 2 組 ・ 3 組（選択者）（選択者）

教科担当者：佐川

使用教科書：（化学（数研出版））

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元「物質の状態」 【知識及び技能】 物質の状態とその変化について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の状態とその変化について、観察、実験などを通して探究し、物質の状態の構造について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	1編 物質の状態 1章 固体の構造 2章 状態変化 3章 気体の性質 4章 溶液の性質	【知識・技能】 物質の状態とその変化についての実験などを通して、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の状態とその変化について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態とその変化について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1

1 学 期	単元「物質の変化」 【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについて、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、エネルギーについて見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	2編 物質の変化 1章 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解	【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーについて主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	単元「化学反応の速さ」 【知識及び技能】 化学反応と化学平衡について、反応速度のことも理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、反応速度について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	2編 物質の変化 3章 化学反応の速さ 3章 化学平衡	【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などを通して、反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 反応速度や化学平衡について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度や化学平衡について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元「無機物質」 【知識及び技能】 無機物質について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 無機物質について、観察、実験などを通して探究し、元素の特性について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	3編 無機物質 1章 非金属元素 2章 典型金属元素 3章 遷移金属元素	【知識・技能】 無機物質についての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 元素について問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	単元「有機化合物の構造」 【知識及び技能】 有機化合物について、炭化水素のことも理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、炭化水素について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	4編 有機化合物 1章 有機化合物の分類と分析 2章 脂肪族炭化水素	【知識及び技能】 有機化合物についての実験などを通して、炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 炭化水素について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元「アルコール関連化合物」 【知識及び技能】 官能基をもつ化合物について、官能基をもつ化合物のことも理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、官能基をもつ化合物について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	4編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 3章 芳香族化合物	【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 官能基をもつ化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	単元「高分子化合物」 【知識及び技能】 高分子化合物について、高分子化合物のことも理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、高分子化合物について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	5編 高分子化合物 1章 高分子化合物の性質 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物	【知識・技能】 高分子化合物についての実験などを通して、高分子化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 高分子化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元「共通テストに向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	問題演習	【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	問題演習	【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	合計						

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教 科： 理科 科 目： 生物 単位数： 3 単位
対象学年組：第 3 学年 （選択者）
教科担当者： 矢島
使用教科書：（ 生物（東京書籍） ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	単元「生命の起源と細胞の進化」 【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「共通性と多様性をつなぐ進化」 「生命の誕生」 「生物の多様性と地球環境の変化」	【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「遺伝子の変化と進化のしくみ」 【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「遺伝的変異」 「多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖」 「進化の定義と自然選択による進化」 「遺伝子レベルでみる進化」 「種分化」	【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「生物の系統と進化」 【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生物の系統」 「生物の系統分類」 「霊長類のなかのヒト」 「人類の出現と変遷」	【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5

1 学 期	単元「細胞と物質」 【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「細胞を構成する成分」 「生体膜のはたらき」 「細胞の構造」 「タンパク質の構造」 「酵素としてはたらくタンパク質」 「生命現象とタンパク質」	【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				5
	定期考査			○	○		1
	単元「代謝とエネルギー」 【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「代謝とエネルギー」 「呼吸」 「発酵」 「光合成」	【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	単元「遺伝情報とその発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「DNAの構造」 「DNAの複製」 「遺伝情報の流れ」 「RNAと転写」 「翻訳のしくみ」 「遺伝情報の変化」	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				6

単元「発生と遺伝子発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「原核生物の遺伝子発現の調節」 「真核生物の遺伝子発現の調節」 「選択的遺伝子発現と細胞分化」 「動物の発生」 「胚の細胞の発生運命と遺伝子発現」 「発現現象と遺伝子発現の調節」 「動物の形と調節遺伝子の発現」	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
単元「遺伝子を扱う技術」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「遺伝子を増幅する技術」 「塩基配列を解読する技術」 「遺伝子組換え技術の利用」 「遺伝子や細胞を扱う技術の課題」	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
単元「動物の刺激の受容と反応」 【知識及び技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「刺激の受容から反応への流れ」 「ニューロンの興奮」 「興奮の伝導」 「興奮の伝達」 「刺激の受容と感覚」 「中枢神経系での情報処理」 「効果器」	【知識・技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
単元「動物の行動」 【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「動物の行動とは」 「刺激の受容と行動」 「学習のしくみ」	【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5

2 学 期	単元「植物の環境応答」 【知識・技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「被子植物の生殖と発生」 「植物の一生の出来事と環境の影響」 「植物ホルモンと光受容体」 「環境要因による発芽の調整」 「根や茎の成長と環境要因の影響」 「気孔の開閉の調節と環境要因の影響」 「花芽形成と環境要因の影響」 「果実の形成と成熟のしくみ」 「器官の老化と脱落のしくみ」	【知識・技能】 植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元「個体群と生物群集」 【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生態系からみた生物」 「個体群と環境」 「個体群の構造と成長」 「個体群の相互作用」 「種間の相互作用」 「個体群の成り立ちと多種の共存」	【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「生態系の物質生産と物質循環」 【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「食物連鎖と物質循環」 「生態系の物質収支と生態ピラミッド」	【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「生態系と人間生活」 【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生物多様性」 「人間社会の変化と生態系」 「生態系の復元」 「人間は自然とどう付き合っているだろうか」	【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（17組：白井・氣田・遠山） （56組：白井・氣田・吉田） （24組：白井・氣田・佐藤） （38組：白井・氣田・吉田）

使用教科書：（ 50 大修館 保体702 新高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：
【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】「運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	球技 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ボール操作とボールを持たないときの動き並びにそれらに関連したプレイの判断に着目し観察することで、個人やチームの学習課題が明確になり、学習成果を高められることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	ネット型 「バレーボール」 グループで協力し、授業を計画・実践する。	【知識・技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。 【思考・判断・表現】 作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為についての自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などについて、話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	12
	球技 【知識及び技能】 ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	ゴール型 「フットサル」 グループで協力し、授業を計画・実践する。	【知識・技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをすることができる。 【思考・判断・表現】 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間と共に球技を楽しむための調整の仕方を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 フェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	12
	球技 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ボール操作とボールを持たないときの動き並びにそれらに関連したプレイの判断に着目し観察することで、個人やチームの学習課題が明確になり、学習成果を高められることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	ネット型 「バドミントン」 グループで協力し、授業を計画・実践する。	【知識・技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 サービスでは、ボールを狙った場所に打つことができる。 ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活躍を振り返ることができる。 チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活躍を振り返ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などについて、話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	12
	球技 【知識及び技能】 ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。	ゴール型 「バスケットボール・アルティメット」 グループで協力し、授業を計画・実践する。	【知識・技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをすることができる。				

2 学 期	題への取り組み方を工夫させる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。		きる。 【思考・判断・表現】 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間と共に球技を楽しむための調整の仕方を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 フェアなプレイを大切にしようとする、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	12
	球技 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ボール操作とボールを持たないときの動き並びにそれらに関連したプレイの判断に着目し観察することで、個人やチームの学習課題が明確になり、学習成果を高められることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	ゴール型 「テニス」 グループで協力し、授業を計画・実践する。	【知識・技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。 【思考・判断・表現】 作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為について自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などについて、話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	12
3 学 期	自宅学習日	自宅学習日	自宅学習日				12
	自宅学習日	自宅学習日	自宅学習日				6
							合計
							78

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

外国語

科目 論理・表現III

教科： 外国語

科目： 論理・表現III

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (2, 5, 6, 7組：鈴木) (1, 3, 4, 7組：原田) (3, 4組：瀬治山)

使用教科書： (FACTBOOK English Logic and ExpressionIII)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中

【思考力、判断力、表現力等】知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、

科目 論理・表現III

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕					
1 学 期	Unit 1 Future of jobs in the AI era	AIに将来取って代わられない職業について話し合うことができる。 AIに将来取って代わられない職業について意見を述べるパラグラフを書くことができる。 AIに将来取って代わられない職業についてプレゼンテーションをすることができる。	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	5
	Unit3 How do people use different types of media?	ニュースサービスの利用状況のグラフについて話し合うことができる。 ニュースサービスの利用状況のグラフを説明するパラグラフを書くことができる。 ソーシャルメディアの問題点についてディスカッションをすること	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	5
	中間考査							○	○		1
	Unit5 Moving toward a cashless society	キャッシュレス決済の普及の原因とその利点について話し合うことができる。 キャッシュレス決済の普及の原因とその利点を示すパラグラフを書くことができる。 キャッシュレス決済の普及の原因とその利点についてスピーチをす	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	5
	Unit6 Are food additives really bad for us?	食品添加物の摂取について話し合うことができる。 食品添加物の摂取について賛否の意見を述べるパラグラフを書くことができる。 食品添加物の摂取についてディベートをすることができる。	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	Unit7 Japanese culture attracting people all over the world	日本文化を多角的に説明する方法について話し合うことができる。 日本文化を多角的に説明しながら紹介するパラグラフを書くことができる。 日本文化を多角的に説明しながら紹介するスピーチをすることができる。	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	期末考査							○	○		1
2 学 期	Unit8 Will we live in a decarbonized society in the future?	エネルギー構成比を示すグラフについて話し合うことができる。 エネルギー構成比を示すグラフを説明するパラグラフを書くことができる。 エネルギー構成比を示すグラフについてスピーチをすることができる。	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	Unit10 The way we live together in the same world	社会的な差別の問題とその解決方法について話し合うことができる。 社会的な差別の問題とその解決方法を示すパラグラフを書くことができる。 社会的な差別の問題とその解決方	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	中間考査							○	○		1
	What can we do about our shrinking population? 共通テスト・文法問題演習	少子化について、その原因と結果を説明するパラグラフを書くことができる。	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6

3 学 期	Writing an Email 共通テスト・文法問題演習	読みに配慮した依頼のメールを書くことができる。	○	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	Having a Formal Discussion 共通テスト・文法問題演習	与えられた議題についてグループでディスカッションをし、結論を導くことができる。	○	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	Making a Research Presentation 共通テスト・文法問題演習	問いを立ててリサーチをし、自分なりの考えを主張するプレゼンテーションを行うことができる。	○	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	共通テスト・文法問題演習	共通テスト・文法問題演習	○	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
												合 計
												72

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書 読					
1 学 期	単元 山月記 【知識及び技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえること。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとする態度を養う。	・指導事項 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、病者の仕方などを的確に捉える。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 「山月記」 中島敦 ・一人1台端末の活用 等	○ ○	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	○ ○ ○	4			
	単元 こころ 【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえること。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおうとする態度を養う。	・指導事項 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、病者の仕方などを的確に捉える。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 「こころ」 夏目漱石 ・一人1台端末の活用 等	○ ○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○ ○ ○	4			
	定期査査					○ ○	1		

	単元 舞姫	・【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めること。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わおうとする態度を養う。	・指導事項 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、病者の仕方などを的確に捉える。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 森鷗外「舞姫」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	8	
	定期考査						○	○		1	
	2 学 期	単元 永訣の朝	・【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈すること。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとする態度を養う。	・指導事項 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、病者の仕方などを的確に捉える。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 「永訣の朝」宮沢賢治 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	2
単元 檸檬		・【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえること。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとする態度を養う。	・指導事項 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、病者の仕方などを的確に捉える。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 「檸檬」梶井基次郎 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	2	
単元 伊豆の踊子		・【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈すること。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の構造に興味をもち、日常とは異なる世界への想像を広げながら、作品を読み味わおうとする態度を養う。	・指導事項 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、病者の仕方などを的確に捉える。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 「伊豆の踊子」川端康成 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の構造に興味をもち、日常とは異なる世界への想像を広げながら、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	4	
定期考査								○	○		1

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 文系古典

教 科： 国語 科 目： 文系古典 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者：（4 7 組：竹内） （5 6 8 組：沖山）

使用教科書：（『精選古典探求 古典編』『精選古典探求 漢文編』 東京書籍 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文・

科目 文系古典 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
単元 歌論を読む 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 歌論という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 筆者の和歌に対する考えを的確に読み取る。 敬語の語句の量を増やし、敬語表現を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を正しく読み取る。 ・教材 「俊頼髄脳」 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	9
単元 物語を読む 【知識及び技能】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品成立当時の社会的な背景を踏まえ、作品に表れている登場人物の心情を読み取る。 敬語の語句の量を増やし、敬語表現を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を正しく読み取る。 ・教材 「源氏物語」 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	9
単元 論語を読む 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 作品に表れる考えの意義や価値などについて考える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・教材 「論語」「孟子」 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	9
1 学期 考查						○	○		1

単元 物語を読む 【知識及び技能】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品成立当時の社会的な背景を踏まえ、作品に表れている登場人物の心情を読み取る。 敬語の語句の量を増やし、敬語表現を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を正しく読み取る。 ・教材 「源氏物語」 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	9
単元 随筆を読む 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を的確にとらえる。 敬語の種類や、敬語表現の用法について理解する。 ・教材 「無名草子」 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	9
単元 小話、史記を読む 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・教材 「史記」 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	9
考查					○	○		1

2 学 期	単元 日記を読む 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 日記を題材とした文学作品を読み、作品に表れている筆者の境遇や心情を読み取る 日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 敬語の語句の量を増やし、敬語表現を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を正しく読み取る。 ・教材 「和泉式部日記」 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	9
	単元 説話を読む 【知識及び技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を的確にとらえる。 敬語の種類や、敬語表現の用法について理解する。 和歌の修辞を読み取り、和歌の豊かな情感を味わう。 ・教材 「発心集」 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	9
	単元 近体詩 【知識及び技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 近体詩の形式やよまわりを理解し、詩歌の味わい方を理解する。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・教材 「唐詩」 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	9
	考查					○	○		1
	単元 様々な種類の文章を読解する 【知識及び技能】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 問題文に見られる語句の意味を理解する。 文法事項の解法を理解する。 登場人物を整理し、文章の展開に即して読み、要旨を理解する。 問いに基づく解答の導き方や選択肢の選び方に習熟する。 ・教材 入試対策問題の文章、過去問題集の文章 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	10
	考查					○	○		1

上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理実践

教 科： 地理歴史科 科 目： 地理実践

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 5 組 （必修選択）

教科担当者： 田部井

使用教科書：（『新詳 地理探究』（帝国書院））

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】地図や地理情報システムに関わる技能を習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】地理的な見方・考え方を働かせながら学習内容をまとめたり、説明したり、発表したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地球的課題に対する世界の現状をとらえ、様々な課題を身近なものとしてとらえる力をつける。

科目 地理実践 の目標：

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理的環境の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、地理的な諸課題の形成に関わる現代の地理的な見方・考え方を理解する。 技能：諸資料から地理的事象に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	地理的環境や人々の生活に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的事象に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理的環境や人々の生活の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の地理的認識を深めながら、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	●自然環境 【知識及び技能】地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・地形、気候、日本の自然環境、地球環境問題について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、単元の整理および共通テスト対策の実践問題演習に取り組む。	【知識及び技能】地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	●資源・産業 【知識及び技能】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や資源・エネルギー、食料問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】資源・エネルギーや農業、工業など結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・農林水産業、食料問題、エネルギー・鉱産資源、資源・エネルギー問題、工業、第3次産業について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、単元の整理および共通テスト対策の実践問題演習に取り組む。	●資源・産業 【知識及び技能】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や資源・エネルギー、食料問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】資源・エネルギーや農業、工業など結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	●交通・通信と観光、貿易 【知識及び技能】交通・通信網と物流や人の移動に関わる運輸、観光などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や交通・通信、観光に関わる問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・交通・通信、観光、貿易と経済圏について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、単元の整理および共通テスト対策の実践問題演習に取り組む。	●交通・通信と観光、貿易 【知識及び技能】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や交通・通信、観光に関わる問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	●人口、村落・都市 【知識及び技能】人口、村落・都市などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や人口、居住・都市問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・人口、人口問題、村落と都市、都市・居住問題について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、単元の整理および共通テスト対策の実践問題演習に取り組む。	●人口、村落・都市 【知識及び技能】人口、村落・都市などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や人口、居住・都市問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	●生活文化、民族・宗教 【知識及び技能】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・衣食住、民族・宗教と民族問題、国家の領域と領土問題について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、単元の整理および共通テスト対策の実践問題演習に取り組む。	●生活文化、民族・宗教 【知識及び技能】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基にそれらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	

2 学 期	民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や結びつきに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球的課題や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力。人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。		に着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球的課題や動向などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【学びに向かう力。人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	●現代世界の諸地域 【知識及び技能】現代世界の諸地域を基に、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。それらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力。人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・中国、韓国、ASEAN諸国、インド、西アジア・中央アジア、アフリカ、EU諸国、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、オーストラリア・ニュージーランドについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、単元の整理および共通テスト対策の実践問題演習に取り組む。	●現代世界の諸地域 【知識及び技能】現代世界の諸地域を基に、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。それらの事象の空間的な規則性、傾向性や民族・領土問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【学びに向かう力。人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	

	定期考查			○	○		1
3 学 期							
	定期考查			○	○		1
							5

年間授業計画

上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史基礎

教科：地理歴史 科目：日本史基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 組～組

教科担当者：黒野・蛇石

使用教科書：（詳述歴史総合（実教出版））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】日本及び世界の歴史の考察に関わる概念の理解するとともに、歴史に関わる諸資料を活用することで課題を発見する

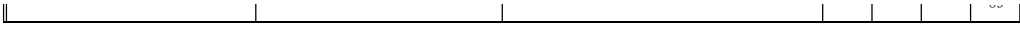
【思考力、判断力、表現力等】自国の歴史、グローバルな歴史を横断的・相互的に捉え、諸資料を活用して、歴史に関わる諸課題を考察する

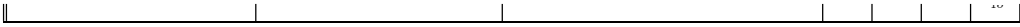
【学びに向かう力、人間性等】国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を持ち、課題解決の方法を工夫して、課題を解決する

科目 日本史基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して商業される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名 【8】第一次世界大戦と大衆社会 【知識・技能】 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ロシア主義の動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解すること。 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発展などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解することができる。 【思考・判断・表現】 日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、第一次世界大戦の性格と特徴、日本とアジアとを元で。	・指導項目 34. 第一次世界大戦 35. ロシア革命とシベリア出兵 36. 大戦景況と米騒動 37. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 38. 西アジア・南アジアの民族運動 39. 東アジア・東南アジアの民族運動 40. 戦間期の結束 41. ひろがる社会運動と普通選挙の実現 42. 戦内閣内閣時代 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	4
	【9】経済危機と第二次世界大戦 【知識・技能】 欧米列強、ファシズムの台頭、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動向を理解することができる。 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後復興の国際連合の形成、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解することができる。 【思考・判断・表現】 経済危機の背景や影響、国際秩序や政治体制の変化、第二次世界大戦の性格と大戦後の世界に与えた影響、国際秩序の形成が社会に与えた影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・指導項目 43. 経済危機 44. ファシズムの時代 45. 満洲国と軍部の台頭 46. 日中戦争 47. 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 48. 戦争と民衆 49. 敗戦 50. 国際連合と戦後世界 51. 戦後と占領の始まり ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元名 【10】国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 【知識・技能】 自由、制度、経済、格差、環境、社会、総合・分析、対立・協調などの観点から、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解することができる。 【思考・判断・表現】 事象の背景や原因、結果や影響に着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 52. 民主化と日本国憲法 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	単元名 【11】グローバル化への問い 【知識・技能】 戦後の国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料・エネルギー・資源・エネルギーと地理環境、感染症、多様な人々の共生などに着目して、グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 53. 冷戦の開始 54. 朝鮮戦争と日本 55. 冷戦対立の推移 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元名 【12】冷戦と世界経済 【知識・技能】 戦後の国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料・エネルギー・資源・エネルギーと地理環境、感染症、多様な人々の共生などに着目して、グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 56. 戦後の国際関係と第三世界の出現 57. 米ソ対立の激化 58. 日本の国際社会復帰と高度経済成長 ・教材書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元名 【13】現代的な諸課題の形成と展望 【知識・技能】 持続可能な社会の実現を視野に入れ、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解することができる。 【思考・判断・表現】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 69. グローバルな認識へ ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	問題演習	・指導項目 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	問題演習	・指導項目 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	15
3 学 期	定期考査			○	○		1
	合計						69





上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教科 地理歴史 科目 日本史演習

単位数 5 単位

対象学年組 第 3 学年 2・4・6・8 組

教科担当者 黒野

使用教科書 （ 詳説 日本史 山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】日本及び世界の歴史の考察に関わる概念の理解するとともに、歴史に関わる諸資料を活用することで課題を発見する

【思考力、判断力、表現力等】自国の歴史、グローバルな歴史を横断的・相互的に捉え、諸資料を活用して、歴史に関わる諸課題を考察する

【学びに向かう力、人間性等】国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を持ち、課題解決の方法を工夫して、課題を解決する

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的條件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して高養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名 （10）近代への転換と歴史的環境 【知識・技能】 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解することができる。 【思考・判断・表現】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現することができる。 時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 1 開国と幕府の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 3 明治維新と富国強兵 4 立憲国家の成立 5 日清・日露戦争と国際関係 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	20
	単元名 （11）歴史資料と近代の展望 【知識・技能】 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 近代産業の発展 4 近代文化の発達 5 市民生活の変容と大衆文化 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	単元名 （12）近現代の地域・日本と世界の画期と構造 【知識・技能】 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政変政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解することができる。 文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆文化の形成を理解することができる。 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程と戦後日本の形成と、第二次世界大戦後の国際関係と日本社会の形成とを理解することができる。 【思考・判断・表現】 歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの連続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察し、構想して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
2 学 期	問題演習	・指導項目 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	問題演習	・指導項目 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	28

年間授業計画

上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史演習

単位数： 5 単位

対象学年組：第 3 学年 4・6・7 組

教科担当者：川本 駿

使用教科書：（『詳説 世界史』山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度【学びに向かう力、人間性等】を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を演習を通して身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して演習を行ない、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名 (1) 地球環境から見る人類の歴史 【知識及び技能】 人類の誕生と地球環境での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸事象を抱えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、人類の歴史と自然環境の関わりについて理解し考察する力を身に付けることができるよう指導する。 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 【思考・判断・表現】 長期にわたる地球気候の変化を示す統計資料や「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	単元名 (2) 日常生活から見る世界の歴史 【知識及び技能】 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、日常生活と世界の歴史の関係について理解し考察する力を身に付けることができるよう指導する。 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 今日の社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解している。 【思考・判断・表現】 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	単元名 (3) 諸地域の歴史的特質への問い 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったりまとめる技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、文明の形成について理解し考察する力を身に付けることができるよう指導する。 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめる技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	単元名 (4) 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 古代文明の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代オリエントや南アジア、東アジア、南北アメリカの古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 文明の誕生 2. 古代オリエント文明とその周辺 3. 南アジアの古代文明 4. 中国の古代文明 5. 南北アメリカ文明 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 各地域の古代文明の特質について理解している。 【思考・判断・表現】 各地域の古代文明の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地域の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元名 (5) 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 中央ユーラシアと東アジア世界の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中央ユーラシアと東アジア世界に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 中央ユーラシア 2. 秦・漢帝国 3. 中国の動乱と変容 4. 東アジア文化圏の形成 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 中央ユーラシアと東アジア世界の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 中央ユーラシアと東アジアの関係が成立した背景や原因を考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中央ユーラシアと東アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

	単元名 (6) 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 南アジアと東南アジア世界の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジア世界と東南アジア世界の展開に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文明とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 南アジア・東南アジア世界の形成や発展、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 【思考・判断・表現】 南アジア・東南アジアにおける社会や文化について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアと東南アジア世界の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元名 (7) 西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の国家形成の過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の国家形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. イラン諸国家の興亡とイラン文明 2. キリシア人の都市国家 3. ローマと地中海世界 4. キリスト教の成立と発展 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 西アジアと地中海世界に誕生した国家について理解している。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海世界に誕生した国家が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと地中海世界に誕生した国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元名 (8) イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、その社会や宗教・文化の特色と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2. ヨーロッパ世界の形成 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 イスラーム教の成立過程やヨーロッパ世界の特質を理解している。 【思考・判断・表現】 イスラーム教の拡大とヨーロッパ世界が周辺社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元名 (9) イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【知識及び技能】 イスラーム教の伝播と西アジアの動向について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教の伝播と西アジアの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. イスラーム教の諸地域への伝播 2. 西アジアの動向 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 イスラーム教が伝播した諸地域の特質や西アジアの動向について理解している。 【思考・判断・表現】 イスラーム教の伝播における影響や西アジアの動向について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の伝播と西アジアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元名 (11) ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 ヨーロッパ世界の变容と展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ世界の变容と展開に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2. 東ヨーロッパ世界の展開 3. 西ヨーロッパ世界の变容 4. ヨーロッパの中世文化 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 ヨーロッパ世界の变容について影響を理解している。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパ世界の变容について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ世界の变容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元名 (12) 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国の成立について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア世界とモンゴル帝国に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. アジア諸地域の自立化と宋 2. モンゴルの大帝国 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国について理解している。 【思考・判断・表現】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国が成立した背景やその特質を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元名 (13) 大交易・大交流の時代 【知識及び技能】 大交易・大交流の時代について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大交易・大交流の時代に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. アジア交易世界の興隆 2. ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の变容 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 大航海時代における世界の結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】 大航海時代の世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大交易・大交流の時代について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元名 (14) アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 アジアの諸帝国の繁栄について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアの諸帝国の繁栄に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. オスマン帝国とサファヴィー朝 2. ムガル帝国の興隆 3. 清代の中国と隣接諸地域 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 アジアの諸帝国の特質を理解している。 【思考・判断・表現】 アジアの諸帝国の繁栄について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジアの諸帝国の繁栄について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

2 学 期	単元名 【15】近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 近世ヨーロッパ世界の動向を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近世ヨーロッパ世界の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 主権国家体制の成立 4. オランダ・イギリス・フランスの台頭 5. 北欧・東欧の動向 6. 科学革命と啓蒙思想 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 近世ヨーロッパ世界の動向について理解している。 【思考・判断・表現】 近世ヨーロッパ世界の動向を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世ヨーロッパ世界の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元名 【16】産業革命と環大西洋革命 【知識及び技能】 産業革命と環大西洋革命の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環大西洋革命の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 産業革命 2. アメリカ合衆国の独立と発展 3. フランス革命とナポレオンの支配 4. 中南米諸国の独立 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 産業革命と環大西洋革命について理解している。 【思考・判断・表現】 産業革命と環大西洋革命について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命と環大西洋革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元名 【17】イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 イギリスの優位と欧米国民国家の形成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスの優位と欧米国民国家の形成の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2. 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3. アメリカ合衆国の発展 4. 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 国民国家の形成について理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元名 【18】アジア諸地域の動揺 【知識及び技能】 アジア諸地域の動揺について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸地域の動揺の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他の宗教との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 西アジア地域の変容 2. 南アジア・東南アジアの植民地化 3. 東アジアの激動 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 アジア諸地域の動揺について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸地域の動揺について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア諸地域の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元名 【19】帝国主義とアジアの民族運動 【知識及び技能】 帝国主義とアジアの民族運動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義とアジアの民族運動の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 第2次産業革命と帝国主義 2. 列強の世界分割と列強体制の二分化 3. アジア諸国の変革と民族運動 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 帝国主義とアジアの民族運動について理解している。 【思考・判断・表現】 帝国主義とアジアの民族運動について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義とアジアの民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

3 学 期	単元名 【30】 第一次世界大戦と世界の変容 【知識及び技能】 第一次世界大戦と世界の変容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦と世界の変容の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 第一次世界大戦とロシア革命 2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3. アジア・アフリカ地域の民族運動 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 第一次世界大戦と世界の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦と世界の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦と世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	単元名 【21】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成の過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2. 第二次世界大戦 3. 新しい国際秩序の形成 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について理解している。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	単元名 【22】 冷戦と第三世界の台頭 【知識及び技能】 冷戦と第三世界の台頭について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と第三世界の台頭の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 冷戦の展開 2. 第三世界の台頭とキューバ危機 3. 冷戦体制戦の高揚 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 冷戦と第三世界の台頭について理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦と第三世界の台頭について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦と第三世界の台頭について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	単元名 【23】 冷戦の終結と今日の世界 【知識及び技能】 冷戦の終結と今日の世界のつながりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の終結と今日の世界のつながりの背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 産業構造の変化 2. 冷戦の終結 3. 今日の世界 4. 現代文明の諸相 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど	【知識・技能】 冷戦の終結について理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦の終結について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計
							195

年間授業計画

上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政経・演習

教 科： 公民 科 目： 政経・演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 組

教科担当者： 三井

使用教科書： （ 高等学校 政治・経済 第一学習社 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚など

科目 政経・演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。共通テストに対応する知識の獲得を確実に行う。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。共通テストに向けての資料読解、思考力の養育が重要な観点となる。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。入試科目として主体的に学ぶ姿勢が問われる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	市場経済の機能と限界（Ⅰ）	○経済活動と資本主義経済 政府の役割と経済的選択 ○市場の仕組み ○経済の三つの主体	【知識・理解】授業や考査における重要語の理解と定着【思考力・判断力・表現力】共通テスト型演習や初見の資料問題の取り組み【主体的に学ぶ態度】入試科目として授業に積極的に参加することと学期に一回の提出物や課題の取り組み	○	○	○	4
	市場経済の機能と限界（Ⅱ）	○市場の限界と政府の役割 ○資本主義経済の歴史的変容と経済思想 ○上記事項の問題演習	【知識・理解】授業や考査における重要語の理解と定着【思考力・判断力・表現力】共通テスト型演習や初見の資料問題の取り組み【主体的に学ぶ態度】入試科目として授業に積極的に参加することと学期に一回の提出物や課題の取り組み	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	国民経済の大きさと経済成長	○経済指標 ○経済成長とその要因 ○物価と景気変動 ○上記事項の問題演習と資料問題への対応	【知識・理解】授業や考査における重要語の理解と定着【思考力・判断力・表現力】共通テスト型演習や初見の資料問題の取り組み【主体的に学ぶ態度】入試科目として授業に積極的に参加することと学期に一回の提出物や課題の取り組み	○	○	○	7
	財政および租税のあり方 金融の仕組みと働き	○財政の機能 ○国家予算 ○租税の公平と財政再建化 ○2年次「公共」での既習事項に配慮し演習 ○貨幣制度と金融 ○金融市場と金利 ○日本銀行の金融政策 ○探究型学習での「金融教育」 ○上記事項の問題演習	【知識・理解】授業や考査における重要語の理解と定着【思考力・判断力・表現力】共通テスト型演習や初見の資料問題の取り組み【主体的に学ぶ態度】入試科目として授業に積極的に参加することと学期に一回の提出物や課題の取り組み	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	経済活動と福祉の向上	○日本経済の変化と中小企業問題 ○労使関係と労働問題 ○社会保障制度と福祉のあり方 ○上記事項の問題演習 ○諸課題の探究型学習で意識と理解を深める	【知識・理解】授業や考査における重要語の理解と定着【思考力・判断力・表現力】共通テスト型演習や初見の資料問題の取り組み【主体的に学ぶ態度】入試科目として授業に積極的に参加することと学期に一回の提出物や課題の取り組み	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	現代の国際政治・経済と諸課題の探究	○戦後国際政治史の概要 ○国際機構の役割とその変容 ○国際法の役割と課題 ○人種・民族、国際紛争の理解 ○日本の国際貢献 ○国際経済の仕組み（為替・貿易など）とその安定と日本の役割 ○上記事項の問題演習と探究型学習	【知識・理解】授業や考査における重要語の理解と定着【思考力・判断力・表現力】共通テスト型演習や初見の資料問題の取り組み【主体的に学ぶ態度】入試科目として授業に積極的に参加することと学期に一回の提出物や課題の取り組み	○	○	○	14

年間授業計画 様式例

東京都立上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 文系数学Ⅰ

教 科： 0 科 目： 文系数学Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 4 組～ 8 組 授業選択者

教科担当者： （月67：上野） （火34：上野） （木34：林）

使用教科書： （ 数研出版 高等学校数学Ⅰ、高等学校数学A ）

教科 0 の目標：

【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 文系数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試に必要な計算問題をまずは自力で解けるようになる。問題に応じて適当な公式を用いて問題解決に繋げることができる。	これまでに培った数学力を、問題演習を通じて発揮することができる。未知なる問題を既知なる問題に近づけ、問題を解決していくことができる。	予習をし、どこかの理解が不十分か自己把握した状態で授業に臨もうとするようになること。授業で扱われた問題だけでなく、関連する問題を自ら解決に繋げられるように取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○ 数と式、集合と命題、2次関数(1) 【知識及び技能】 基本的な「数と式、集合と命題、2次関数(1)」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 単純な計算問題ではなく、自ら意図をもって立式し、それを解くことで求めたい解が求められるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	○ 2次関数(2)、図形と計量 【知識及び技能】 基本的な「2次関数(2)、図形と計量」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	○ 図形と計量、データの分析 【知識及び技能】 基本的な「図形と計量、データの分析」に関する問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	○ 場合の数と確率、図形の性質 【知識及び技能】 基本的な「場合の数と確率、図形の性質」に関する問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。				

2 学 期	自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。		【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 - 既習事項の確認と問題演習 ・教材 - 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 - 既習事項の確認と問題演習 ・教材 - 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	3
	○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 - 既習事項の確認と問題演習 ・教材 - 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	3
	○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 - 既習事項の確認と問題演習 ・教材 - 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。	・指導事項 - 既習事項の確認と問題演習 ・教材 - 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	2

3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい 個所を明らかにして授業に臨む姿 勢を見せる。					
	○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くこ とが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理 解して適当な定理・公式を使って 問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい 個所を明らかにして授業に臨む姿 勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等				2
				○	○	○
						合計
						43

東京都立上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 文系数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 文系数学Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 4 組～ 8 組 授業選択者

教科担当者： （月67：二見） （金67：上野）

使用教科書： （ 数研出版 高等学校数学Ⅱ、高等学校数学B、高等学校数学C ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 文系数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅰ・Ⅱに比べ、よりハイレベルな計算問題をまずは自力で解けるようになる。問題に応じて適当な公式を用いて問題解決に繋げることができる。	これまでに培った数学力を、問題演習を通じて発揮することができる。未知なる問題を既知なる問題に近づけ、問題を解決していくことができる。	予習をし、どこかの理解が不十分か自己把握した状態で授業に臨もうとするようになること。授業で扱われた問題だけでなく、関連する問題を自ら解決に繋げられるように取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○ 式と証明 【知識及び技能】 基本的な「二項定理・多項式の除法・分数式の計算」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 単純な計算問題ではなく、自ら意図をもって立式し、それを解くことで求めたい解が求められるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	○ 複素数と方程式 【知識及び技能】 基本的な「複素数の計算・剰余の定理・因数定理」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	○ 図形と方程式 【知識及び技能】 「点・直線・円」に関する基本的な問題を関連する公式を用いて解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多角的に捉え、様々な解法が存在することを理解し、その中で最適な解法を選ぶことができる。とともに、最適な解法である理由まで説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	5
	○ 三角関数 【知識及び技能】 基礎的基本的な三角関数の問題を、公式や性質を理解し使って解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 未知なる問題を少し工夫し、数学Ⅰなどより低いレベルの問題に落とし、解き進めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	○ 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数関数と対数関数の関係について理解し、累乗根から指数を用いた表し方に直して計算をするこ	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。				

2 学 期	とができる。指数法則が、自然数より広く拡張されても成立することが分かって使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数どちらも底を適切に評価し、増加関数が減少関数が把握したうえで問題解決に繋げることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。		【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	○ 微分法・積分法 【知識及び技能】 x についての微分を誤りなくすることができる。また、微分を用いて解く基本的な問題（接線の方程式問題・3次関数問題）を解くことができる。また、積分に関する基本的問題が解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 微分と積分の関係を理解し、意図を持って正しい計算（微分・積分）をすることが出来る。グラフの性質から、面積の計算をより簡単に行うために式を変形することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	○ 数列 【知識及び技能】 等差数列・等比数列に関する基本的な事項を理解し、一般項を誤りなく導くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漸化式の特徴から、適する解法を選び（特性方程式の利用・ある数で割って置き換えなど）問題を解き進めることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	3
	○ 統計的な推測 【知識及び技能】 二項分布、正規分布などに関連する基本的計算をすることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 文章問題からデータの規則を数値におこし、正規分布表から確率を求めたり、標準化を適するタイミングで行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	3
	○ ベクトル 【知識及び技能】 ベクトルに関する基本的な計算（和・差・スカラー倍・内積）をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題文の条件から、考えられるベクトルにおける性質に読み替え、問題を解決していける立式ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	○ 総合問題演習（数学Ⅱ・B・C） 【知識及び技能】 基本的な計算問題を誤りなく解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章題などの発展的問題に対応でき、正答が導けるようになる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	2

3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。			○	○	○	2
	○ 共通テスト実践問題（数学Ⅱ・B・C） 【知識及び技能】 各大問の最初の部分の問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各大問の後半部分の発展的問題を筋道立てて解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	2
							合計
							43

東京都立上野 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教 科： 数学 科 目： 数学演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 3 組 授業選択者

教科担当者： （1組、2組：佐藤）（3組：二見）

使用教科書： （ 数研出版 高等学校数学Ⅱ、高等学校数学B、高等学校数学C ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅰ・Ⅱに比べ、よりハイレベルな計算問題をまずは自力で解けるようになる。問題に応じて適当な公式を用いて問題解決に繋げることができる。	これまでに培った数学力を、問題演習を通じて発揮することができる。未知なる問題を既知なる問題に近づけ、問題を解決していくことができる。	予習をし、どこかの理解が不十分か自己把握した状態で授業に臨もうとするようになること。授業で扱われた問題だけでなく、関連する問題を自ら解決に繋げられるように取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○ 式と証明 【知識及び技能】 基本的な「二項定理・多項式の除法・分数式の計算」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 単純な計算問題ではなく、自ら意図をもって立式し、それを解くことで求めたい解が求められるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	10
	○ 複素数と方程式 【知識及び技能】 基本的な「複素数の計算・剰余の定理・因数定理」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	○ 図形と方程式 【知識及び技能】 「点・直線・円」に関する基本的な問題を関連する公式を用いて解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多角的に捉え、様々な解法が存在することを理解し、その中で最適な解法を選ぶことができる。とともに、最適な解法である理由まで説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	12
	○ 三角関数 【知識及び技能】 基礎的基本的な三角関数の問題を、公式や性質を理解し使って解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 未知なる問題を少し工夫し、数学Ⅰなどより低いレベルの問題に落とし、解き進めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	○ 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数関数と対数関数の関係について理解し、累乗根から指数を用いた表し方に直して計算をするこ	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。				

2 学 期	とができる。指数法則が、自然数より広く拡張されても成立することが分かって使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 指数関数・対数関数どちらも底を適切に評価し、増加関数が減少関数が把握したうえで問題解決に繋げることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。		【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	10
	○ 微分法・積分法 【知識及び技能】 x についての微分を誤りなくすることができる。また、微分を用いて解く基本的な問題（接線の方程式問題・3次関数問題）を解くことができる。また、積分に関する基本的問題が解ける。 【思考力・判断力・表現力等】 微分と積分の関係を理解し、意図を持って正しい計算（微分・積分）をすることが出来る。グラフの性質から、面積の計算をより簡単に行うために式を変形することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	○ 数列 【知識及び技能】 等差数列・等比数列に関する基本的な事項を理解し、一般項を誤りなく導くことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 漸化式の特徴から、適する解法を選び（特性方程式の利用・ある数で割って置き換えなど）問題を解き進めることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	8
	○ 統計的な推測 【知識及び技能】 二項分布、正規分布などに関連する基本的計算をすることが出来る。 【思考力・判断力・表現力等】 文章問題からデータの規則を数値におこし、正規分布表から確率を求めたり、標準化を適するタイミングで行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	6
	○ ベクトル 【知識及び技能】 ベクトルに関する基本的な計算（和・差・スカラー倍・内積）をすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 問題文の条件から、考えられるベクトルにおける性質に読み替え、問題を解決していける立式ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	○ 総合問題演習（数学Ⅱ・B・C） 【知識及び技能】 基本的な計算問題を誤りなく解くことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 文章題などの発展的問題に対応でき、正答が導けるようになる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	3

3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。			○	○	○	○
	○ 共通テスト実践問題（数学Ⅱ・B・C） 【知識及び技能】 各大問の最初の部分の問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各大問の後半部分の発展的問題を筋道立てて解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	3
							合計
							103

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理基礎演習

教 科： 理科 科 目： 物理基礎演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 自由選択：渡邊・野間 ）

使用教科書：（ 高等学校 物理基礎〔第一学習社〕 ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：運動とエネルギー 【知識及び技能】 変位、速度、加速度の基本的な物理量の定義を理解し、公式の意味を理解できる。物体にはたらく力のベクトル、運動方程式を記述でき、仕事とエネルギーの関係を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の位置と時間などの関係をもとに、x-tグラフやv-tグラフ、a-tを描くことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができる。	共通テスト対策として、各単元の復習と演習を行う。 ・速度、加速度、等加速度運動、落下運動 ・力のつり合い、運動の法則、さまざまな力（摩擦力、弾性力、浮力など） ・仕事と力学的エネルギー	【知識・技能】 ・変位、速度、加速度の基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 ・等加速度運動を理解し、物体の運動を予測できる。 ・物体にはたらく力のベクトルを見つけ、運動方程式を記述できる。 ・仕事と仕事率の定義を理解し、計算することができる。 ・力学的エネルギー保存則を導き、式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・物体の位置と時間などの関係をもとに、x-tグラフやv-tグラフ、a-tを描くことができる。 ・仕事とエネルギーの関係を理解できる。 ・保存力以外が仕事をする場合のエネルギーの関係式を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に演習に取り組み、計算結果からどのような物理現象が生じるのか考察することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	単元：熱、波動、電気と電流 【知識及び技能】 熱運動のエネルギーと温度の関係について理解することができる。比熱や熱容量の定義を理解し、物体に熱を与えたときの温度変化などを計算することができるようになる。熱量の保存を用いて、温度変化や比熱を求めることができるようになる。 熱と仕事の関係、内部エネルギーの定義のそれぞれについて理解しており、熱力学の第1法則を用いて各物理量を計算することができるようになる。 波の振動数、速さ、波長など、各物理量の関係を理解し、計算して求めたり、グラフから読み取ることができる。弦や音の固有振動について理解し、波の波長や固有振動数を求めることができる。 帯電のしくみを理解しており、帯電体の電気量と電気素量から移動した電子の個数を計算し、どちらからどちらへ電子が移動したのかを考察することができる。電流の定義について理解し、計算することができる。 ジュールの法則、電力量、電力の各式を理解し、さまざまな条件における各物理量を計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の物質を加熱したときの上昇温度と加熱時間との関係を表すグラフから、熱容量と比熱のそれぞれの大きさを考えることができるようになる。 波の重ね合わせ、反射、定常波について理解し、波形を作図することができる。固有振動が生じている	共通テスト対策として、各単元の復習と演習を行う。 ・熱とエネルギー ・波の性質、音波、物体の振動 ・静電気と電流	【知識・技能】 ・比熱や熱容量の定義を理解でき、計算することができる。 ・熱量の保存則を用いて、温度変化や比熱等を計算して求めることができる。 ・熱力学第一法則を理解し、熱量、内部エネルギーの変化、気体がする仕事を求めることができる。 ・波の振動数、速さ、波長など、各物理量の関係を理解し、計算して求めたり、グラフから読み取ることができる。 ・弦や音の固有振動について理解し、波の波長や固有振動数を求めることができる。 ・帯電のしくみを理解しており、帯電体の電気量と電気素量から移動した電子の個数を計算し、どちらからどちらへ電子が移動したのかを考察することができる。 ・ジュールの法則、電力量、電力の各式を理解し、さまざまな条件における各物理量を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・複数の物質を加熱したときの上昇温度と加熱時間との関係を表すグラフから、熱容量と比熱のそれぞれの大きさを考えることができる。 ・弦の張力や線密度によって、ギターなどの弦から出る音の高低がどのようになるのかを考察することができる。 ・閉管や開管の気柱の振動において、気柱の圧力と密度がどのように変化するのか、時間の経過に伴う振動のようすをもとに考えることができる。 ・直列、並列の各接続の特徴を理解し、複雑な回路であっても、各抵抗に流れる電流や加わる電圧を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に演習に取り組み、計算結果からどのような物理現象が生じるのか考察することができる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

2 学 期	単元：電流と磁場、エネルギーと その利用 【知識及び技能】 直線電流、円形電流、ソレノイド を流れる電流がそれぞれつくる磁場 の特徴を理解しており、導線の周囲 に生じる磁場の強弱や磁場の向きを 判断することができる。 電磁誘導の特徴について理解して おり、さまざまな条件において、誘 導電流の流れる向きや、誘導起電力 の大小を判断することができる。 変圧器におけるコイルの巻数と電 圧の関係式や、一次と二次のコイル とで電力が保存されることを理解し ている。 原子核の放射性崩壊の種類やその 特徴を理解する。 核分裂のしくみについて理解し、 原子力発電における利点と課題の両 方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電力輸送のしくみを理解してお り、損失を小さくするためにどのよ うな操作をすればよいのかを導くこ とができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことがで きる。 定期考査	共通テスト対策として、各単元の復 習と演習を行う。 ・電流と磁場 ・エネルギーと其の利用 共通テスト形式の実践問題（予想問 題）に取り組む。	【知識・技能】 ・直線電流、円形電流、ソレノイドを流れる電 流がそれぞれつくる磁場の特徴を理解してい る。 ・電磁誘導の特徴について理解しており、さま ざまな条件において、誘導電流の流れる向き や、誘導起電力の大小を判断することができ る。 ・変圧器におけるコイルの巻数と電圧の関係式 や、一次と二次のコイルとで電力が保存され ることを理解している。 ・原子核の放射性崩壊の種類やその特徴を理解 している。 ・核分裂のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 右ねじの法則をもとにして、円形電流、ソレ ノイドを流れる電流がそれぞれつくる磁力線 のようすを描くことができる。 電力輸送のしくみを理解しており、損失を小 さくするためにどのような操作をすればよい のかを導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に演習に取り組む、計算結果からどのよ うな物理現象が生じるのか考察することができ る。	○	○	○	14
	共通テスト形式の実践問題 【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公 式の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テスト特有の問題をととし て、グラフから情報を読み取った り、法則を数式化することができ る。探究実験に関して考察すること ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができ る。 定期考査	共通テスト形式の実践問題（予想問 題）に取り組む。	【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を 理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テスト特有の問題をととして、グラフか ら情報を読み取ったり、法則を数式化すること ができる。探究実験に関して考察することがで きる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができる。	○	○		1
	共通テスト形式の実践問題 【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公 式の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テスト特有の問題をととし て、グラフから情報を読み取った り、法則を数式化することができ る。探究実験に関して考察すること ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができ る。 定期考査	共通テスト形式の実践問題（予想問 題）に取り組む。	【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を 理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テスト特有の問題をととして、グラフか ら情報を読み取ったり、法則を数式化すること ができる。探究実験に関して考察することがで きる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができる。	○	○		1
3 学 期	共通テスト形式の実践問題 【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公 式の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テスト特有の問題をととし て、グラフから情報を読み取った り、法則を数式化することができ る。探究実験に関して考察すること ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができ る。	共通テスト形式の実践問題（予想問 題）に取り組む。	【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を 理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テスト特有の問題をととして、グラフか ら情報を読み取ったり、法則を数式化すること ができる。探究実験に関して考察することがで きる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができる。				14
							合計
							78

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理実践

教科 理科 科目 物理実践

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年 1, 2, 3, 5 組

教科担当: (野村)

使用教科書: (高等学校 物理 [第一学習社])

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。発展的な内容についても思考し、数式で表現することができる。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元: ○平面運動と放物運動 ○剛体のつりあい ○運動量の保存 ○円運動と単振動 の発展的な内容を扱い、演習も行う。 【知識及び技能】 ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表すことができる。 ・力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 ・運動量について学習し、運動方程式を用いて、運動量の変化と力積の関係を理解する。 ・等速円運動の角速度、周期、回転数、速度を学習し、加速度と向心力を理解する。 ・運動量を表す慣性力を用いて、物体にはたらく力を見ながら観測者の立場で把握できるようにする。 ・ばね振り子や単振り子について、物体が受ける力を把握し、周期を導出できるようにする。 ・ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・力のつりあいを用いて、さまざまな形状の剛体の重心を考えることができる。 ・運動量と力積の関係をj用いて、運動量保存の法則を導き、直線上や平面上での衝突、物体が分裂・合体する場合のそれぞれで、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 ・反発係数を学習し、反発係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 ・単振動する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 ・観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 ・導体中における自由電子の運動に着目し、抵抗や抵抗率との関係を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 ・運動量の変化と力積との関係をj用いて、さまざまな条件で衝突について、運動量保存の法則を導出しようとする。 ・等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に導出しようとする。	<平面運動と放物運動> <剛体のつりあい> <剛体にはたらく力とその合力> <剛体の重心とつりあい> <運動量の保存> <運動量と力積> <運動量保存の法則> <反発係数> <円運動と単振動> <円運動> <慣性力と遠心力> <単振動> <万有引力による運動> の発展的な内容を扱い、演習も行う。	【知識及び技能】 ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を導くことができる。 ・力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 ・運動量について学習し、運動方程式を用いて、運動量の変化と力積の関係を理解する。 ・等速円運動の角速度、周期、回転数、速度を学習し、加速度と向心力を理解する。 ・運動量を表す慣性力を用いて、物体にはたらく力を見ながら観測者の立場で把握できるようにする。 ・ばね振り子や単振り子について、物体が受ける力を把握し、周期を導出できるようにする。 ・ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・力のつりあいを用いて、さまざまな形状の剛体の重心を考えることができる。 ・運動量と力積の関係をj用いて、運動量保存の法則を導き、直線上や平面上での衝突、物体が分裂・合体する場合のそれぞれで、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 ・反発係数を学習し、反発係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 ・単振動する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 ・観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 ・運動量の変化と力積との関係をj用いて、さまざまな条件で衝突について、運動量保存の法則を導出しようとする。 ・等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に導出しようとする。 ・遠心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて定量的に考えようとする。				
定期考査						1
1 学期 単元: ○気体の性質と分子の運動 ○波の性質 ○音波 ○光波 ○電場と電位 ○電流 の発展的な内容を扱い、演習も行う。 【知識及び技能】 ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態変化に伴う仕事や熱を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱をj考えることができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折など、波の伝わり方について理解する。 ・音の伝わり方、ドップラー効果 <光波> ・光の性質 ・レンズと鏡 ・光の回折と干渉 <電場と電位> ・静電気力 ・電場 ・電位 ・コンデンサー <電流> ・電流と抵抗 ・直流回路 ・半導体 の発展的な内容を扱い、演習も行う。	<気体の性質と分子の運動> <気体の法則> <気体の内部エネルギーと仕事> <波の性質> <音波> <光波> <電場と電位> <電流>	【知識及び技能】 ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態変化に伴う仕事や熱を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱をj考えることができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折など、波の伝わり方について理解する。 ・音の伝わり方、ドップラー効果 <光波> ・光の性質 ・レンズと鏡 ・光の回折と干渉 <電場と電位> ・静電気力 ・電場 ・電位 ・コンデンサー <電流> ・電流と抵抗 ・直流回路 ・半導体 【思考力、判断力、表現力等】 ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常での経験と照らし合わせて気体の圧力と体積、温度の関係を考え、物理学的に理解しようとしている。 ・身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。				25
定期考査						1

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理演習

教科 理科 科目 物理演習

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1, 2, 3, 5 組

教科担当: (野村)

使用教科書: (高等学校 物理 [第一学習社])

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理演習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元: ○平面運動と放物運動 ○剛体のつりあい ○運動量の保存 ○円運動と単振動 上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。 【知識及び技能】 ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を書くことができる。 ・力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 ・運動量について学習し、運動方程式を用いて、運動量の変化と力積の関係を理解する。 ・等速円運動の角速度、周期、回転数、速度を学習し、加速度と向心力を理解する。 ・遠心力を含めた慣性力を学習し、物体にはたらく力を異なる観測者の立場で把握できるようにする。 ・ばね振り子や単振り子について、物体が受ける力を把握し、周期を導出できるようにする。 ・ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・力のつりあいを用いて、さまざまな形状の剛体の重心を考えることができる。 ・運動量と力積の関係をj用いて、運動量保存の法則を導き、直線上や平面上での衝突、物体が分裂、合体する場合のそれぞれで、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 ・反発係数を学習し、反発係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 ・単振動する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 ・観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 ・導体中における自由電子の運動に着目し、抵抗や抵抗率との関係を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 ・運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件でおこる衝突について、運動量保存の法則を意図的に導出しようとする。 ・等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。 ・遠心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて意図的に考えようとする。	<平面運動と放物運動> ・剛体のつりあい ・剛体にはたらく力とその合力 ・剛体の重心とつりあい <運動量の保存> ・運動量と力積 ・運動量保存の法則 ・反発係数 <円運動と単振動> ・円運動 ・慣性力と遠心力 ・単振動 ・万有引力による運動 上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。 【知識及び技能】 ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の体積変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則で、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考えることができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折など、波の伝わり方について理解する。 ・波源の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄膜による干渉、くさび形空気層による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場と電磁力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電磁力線の関係について理解する。 ・コルデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電体極化を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りを考えることができる。 ・日常での経験と照らし合わせて	【知識及び技能】 ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を書くことができる。 ・力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 ・運動量について学習し、運動方程式を用いて、運動量の変化と力積の関係を理解する。 ・等速円運動の角速度、周期、回転数、速度を学習し、加速度と向心力を理解する。 ・遠心力を含めた慣性力を学習し、物体にはたらく力を異なる観測者の立場で把握できるようにする。 ・ばね振り子や単振り子について、物体が受ける力を把握し、周期を導出できるようにする。 ・ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・力のつりあいを用いて、さまざまな形状の剛体の重心を考えることができる。 ・運動量と力積の関係をj用いて、運動量保存の法則を導き、直線上や平面上での衝突、物体が分裂、合体する場合のそれぞれで、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 ・反発係数を学習し、反発係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 ・単振動する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 ・観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 ・運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件でおこる衝突について、運動量保存の法則を意図的に導出しようとする。 ・等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。 ・遠心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて意図的に考えようとする。	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1
	1学期 単元: ○気体の性質と分子の運動 ○波の性質 ○音波 ○電磁と電位 ○電流 上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。 【知識及び技能】 ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の体積変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則で、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考えることができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折など、波の伝わり方について理解する。 ・波源の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄膜による干渉、くさび形空気層による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場と電磁力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電磁力線の関係について理解する。 ・コルデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電体極化を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りを考えることができる。 ・日常での経験と照らし合わせて	<気体の性質と分子の運動> ・気体の法則 ・気体の分子運動 ・気体の内部エネルギーと仕事 ・正圧変化 ・波の伝わり方 <音波> ・音の伝わり方 ・ドップラー効果 <光波> ・光の性質 ・レンズと鏡 ・光の回折と干渉 <電磁と電位> ・静電気学 ・電場 ・コンデンサー <電流> ・電流と抵抗 ・直流通路 ・半導体 上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。 【知識及び技能】 ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の体積変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則で、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考えることができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折など、波の伝わり方について理解する。 ・波源の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄膜による干渉、くさび形空気層による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場と電磁力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電磁力線の関係について理解する。 ・コルデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電体極化を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りを考えることができる。 ・日常での経験と照らし合わせて	【知識及び技能】 ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の体積変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則で、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考えることができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折など、波の伝わり方について理解する。 ・波源の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄膜による干渉、くさび形空気層による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場と電磁力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電磁力線の関係について理解する。 ・コルデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電体極化を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りを考えることができる。 ・日常での経験と照らし合わせて	○	○	○	16
定期考査				○	○		1
2学期		単元: ○電磁誘導と電磁誘導 ○電磁誘導と電					

2 学 期	單元： ○電流と磁場 ○電磁誘導と交流 ○電子と光 ○原子と原子核 上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。 【知識及び技能】 ・磁気力に関するクーロンの法則を学習し、電流がつくる磁場の強さと磁力線の概形について理解する。 ・磁場中で電流が受ける力について、フレミングの左手の法則やねじの関係を用いて定量的に理解する。 ・磁束密度と磁場との関係、磁化の性質を理解し、平行電流間にはたらく力を定量的に理解する。 ・ローレンツ力について学習し、磁場中に入射した粒子の運動を理解する。 ・ファラデーの電磁誘導の法則を学習し、磁場中を動く導体が生じる起電力や、導体を動かすのに要する力や仕事の関係を理解する。 ・自己誘導、相互誘導の現象を理解し、生じる起電力を計算する。 ・変圧器のしくみを理解する。 ・光電効果とその特徴を学習し、光電子の運動エネルギーと仕事関数との関係を定量的に理解する。 ・物質波の意味を理解し、その波長や運動量の関係式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ローレンツ力の性質をもとに、荷電粒子の運動を考察することができる。 ・ローレンツ力の性質を把握することで、金属中の電子の運動をもとにホール効果について考察できる。 ・さまざまな電磁誘導の現象において、誘導起電力の大きさと向きを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・磁場中の荷電粒子の運動について意欲的に考察しようとする。 ・コイルに棒磁石を近づけたり、遠ざけたりする実験の結果から、ファラデーの電磁誘導の法則を見出して理解する。 ・交流が発生するしくみに関心をもち、抵抗、コイル、コンデンサーの特性を考えようとする。 ・これまで学習した荷電粒子の運動をもとに、トムソンやミリカンの実験のしくみを考え、式を用いて理解しようとしている。 ・光電効果の特徴について、その実験過程から意欲的に意味を理解しようとする。	<電流と磁場> ・磁場 ・電流がつくる磁場 ・電流が磁場から受ける力 ・ローレンツ力 <電磁誘導と交流> ・電磁誘導 ・事故誘導と相互誘導 ・交流 ・電磁波 <電子と光> ・電子 ・光の粒子性 ・X線 ・粒子の波動性 <原子と原子核> ・原子の構造 ・原子核と放射線 ・核反応とエネルギー ・素粒子と宇宙 上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。	【知識及び技能】 ・磁気力に関するクーロンの法則を学習し、電流がつくる磁場の強さと磁力線の概形について理解する。 ・磁場中で電流が受ける力について、フレミングの左手の法則やねじの関係を用いて定量的に理解する。 ・ローレンツ力について学習し、磁場中に入射した粒子の運動を理解する。 ・ファラデーの電磁誘導の法則を学習し、磁場中を動く導体が生じる起電力や、導体を動かすのに要する力や仕事の関係を理解する。 ・自己誘導、相互誘導の現象を理解し、生じる起電力を計算する。 ・変圧器のしくみを理解する。 ・光電効果とその特徴を学習し、光電子の運動エネルギーと仕事関数との関係を定量的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ローレンツ力の性質をもとに、荷電粒子の運動を考察することができる。 ・ローレンツ力の性質を把握することで、金属中の電子の運動をもとにホール効果について考察できる。 ・さまざまな電磁誘導の現象において、誘導起電力の大きさと向きを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・磁場中の荷電粒子の運動について意欲的に考察しようとする。 ・コイルに棒磁石を近づけたり、遠ざけたりする実験の結果から、ファラデーの電磁誘導の法則を見出して理解する。 ・交流が発生するしくみに関心をもち、抵抗、コイル、コンデンサーの特性を考えようとする。 ・これまで学習した荷電粒子の運動をもとに、トムソンやミリカンの実験のしくみを考え、式を用いて理解しようとしている。 ・光電効果の特徴について、その実験過程から意欲的に意味を理解しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	共通テスト形式の実践問題 【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テスト特有の問題をとおして、グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができる。	共通テスト形式の実践問題（予想問題）に取り組む。	【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テスト特有の問題をとおして、グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	一般受験対策（実践問題） 【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができる。	一般受験で頻出の問題や、過去問等を扱い、実践力を磨く。	一般受験対策（実践問題） 【知識及び技能】 物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組むことができる。				14
							合計
							78

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学基礎演習

使用教科書：（ 化学基礎（東京書籍））

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

知識及び技能	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念・原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事象・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

合計
78

年間授業計画

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学探究Ⅰ

教科 理科 科 目： 化学探究Ⅰ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組 ・ 2 組 ・ 3 組 ・ 5 組 (選択者)

教科担当： (1 組：吉田) (3 組：佐川) (2・5 組：海野)

使用教科書： (化学 (数研出版))

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学探究Ⅰ の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を 科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1	単元「化学反応の速さ」 【知識及び技能】 化学反応と化学平衡について、反応速度のものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、反応速度について見だし表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	2編 物質の変化 3章 化学反応の速さ	【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などを通して、反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 反応速度について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	単元「化学平衡」 【知識及び技能】 化学反応と化学平衡について、化学平衡とその移動を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、化学平衡とその移動について見だし表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学平衡とその移動について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	2編 物質の変化 4章 化学平衡	【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などを通して、化学平衡とその移動の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学平衡とその移動について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学平衡とその移動について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

1学期	単元「有機化合物の構造」 【知識及び技能】 有機化合物について、炭化水素のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、炭化水素について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	4編 有機化合物 1章 有機化合物の分類と分析 2章 脂肪族炭化水素	【知識及び技能】 有機化合物についての実験などを通して、炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 炭化水素について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20
	単元「アルコール関連化合物」 【知識及び技能】 有機化合物について、官能基をもつ化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、官能基をもつ化合物について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	4編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物	【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 官能基をもつ化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2学期	単元「芳香族化合物」 【知識及び技能】 有機化合物について、芳香族化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、芳香族化合物について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 芳香族化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	4編 有機化合物 4章 芳香族化合物	【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、芳香族化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 芳香族化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 芳香族化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	単元「天然高分子化合物」 【知識及び技能】 高分子化合物について、天然高分子化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、天然高分子化合物について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 天然高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	5編 高分子化合物 1章 高分子化合物の性質 2章 天然高分子化合物	【知識・技能】 高分子化合物についての実験などを通して、天然高分子化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 天然高分子化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 天然高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2学期	単元「合成高分子化合物」 【知識及び技能】 高分子化合物について、合成高分子化合物のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、合成高分子化合物について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 合成高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	5編 高分子化合物 3章 合成高分子化合物	【知識・技能】 高分子化合物についての実験などを通して、合成高分子化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 合成高分子化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 合成高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	単元「共通テストに向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	問題演習	【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3学期	単元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	問題演習	【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	17
	合計						156

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学探究Ⅱ

教科：理科 科目：化学探究Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組 ・ 3 組（選択者）

教科担当：佐川

使用教科書：（化学（数研出版））

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学探究Ⅱ の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	1編 物質の状態 1章 固体の構造 2章 状態変化 3章 気体の性質 4章 溶液の性質	【知識・技能】 物質の状態とその変化についての実験などを通して、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の状態とその変化について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態とその変化について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10

1 学 期	単元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	2編 物質の変化 1章 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解	【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについての実験などを通して、基本的な概念や原理、原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーについて主体的に関わり、見通しをもって振り返り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	2編 物質の変化 3章 化学反応の速さ 4章 化学平衡	【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などを通して、反応速度の基本的な概念や原理、原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 反応速度や化学平衡について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度や化学平衡について主体的に関わり、見通しをもって振り返り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	3編 無機物質 1章 非金属元素 2章 典型金属元素 3章 遷移金属元素	【知識・技能】 無機物質についての実験などを通して、基本的な概念や原理、原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 元素について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素について主体的に関わり、見通しをもって振り返り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
2 学 期	単元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	4編 有機化合物 1章 有機化合物の分類と分析 2章 脂肪族炭化水素	【知識及び技能】 有機化合物についての実験などを通して、炭化水素の基本的な概念や原理、原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 炭化水素について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素について主体的に関わり、見通しをもって振り返り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	4編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物	【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理、原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 官能基をもつ化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物について主体的に関わり、見通しをもって振り返り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	4編 有機化合物 5章 高分子化合物 1章 高分子化合物の性質 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物	【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、高分子化合物の基本的な概念や原理、原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 高分子化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもって振り返り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
3 学 期	単元「共通テストに向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	共通テスト問題演習	【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理、原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見通しをもって振り返り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	合計						

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学実践

教科：理科 科目：化学実践 単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 2 組 ・ 3 組（選択者）（選択者）

教科担当：佐川

使用教科書：（化学（数研出版））

教科 理科 の目標：
【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学実践 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
世元「物質の状態」 【知識及び技能】 物質の状態とその変化について理解 するとともに、それらの観察、実 験などに関する技能を身に付け る。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の状態とその変化について、 観察、実験などを通して探究し、 物質の状態の構造について見い だして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態に関する事物・現象に 主体的に関わり、科学的に探究し ようとする態度を養う。	1編 物質の状態 1章 固体の構造 2章 状態変化 3章 気体の性質 4章 溶液の性質	【知識・技能】 物質の状態とその変化についての実験など を通して、基本的な概念や原理・法則など を理解しているとともに、科学的に探究す るために必要な実験などに関する基本操作 や記録などの基本的な技能を身に付けてい る。 【思考・判断・表現】 物質の状態とその変化について、問題を見 だし見通しをもって実験などをを行い、科 学的に考察し表現しているなど、科学的に 探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態とその変化について主体的に関 わり、見通しをもったり振り返ったりする など、科学的に探究しようとしている。			○	15
定期考査			○	○		1

1 学 期	甲元「物質の変化」 【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについて、理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、エネルギーについて見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	2編 物質の変化 1章 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解	【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについての実験などをを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を生身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーについて主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。					12
	甲元「化学反応の速さ」 【知識及び技能】 化学反応と化学平衡について、反応速度のこを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、反応速度について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	2編 物質の変化 3章 化学反応の速さ 3章 化学平衡	【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などをを通して、反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を生身に付けている。 【思考・判断・表現】 反応速度や化学平衡について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度や化学平衡について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。					12
	定期考査							1
	甲元「無機物質」 【知識及び技能】 無機物質について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 無機物質について、観察、実験などを通して探究し、元素の特徴について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	3編 無機物質 1章 非金属元素 2章 典型金属元素 3章 遷移金属元素	【知識・技能】 無機物質についての実験などをを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を生身に付けている。 【思考・判断・表現】 元素について問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。					14
	定期考査							1
	甲元「有機化合物の構造」 【知識及び技能】 有機化合物について、炭化水素のこを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、炭化水素について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	4編 有機化合物 1章 有機化合物の種類と分析 2章 脂肪族炭化水素	【知識及び技能】 有機化合物についての基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を生身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 炭化水素について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。					10
	定期考査							1
2 学 期	甲元「アルコール関連化合物」 【知識及び技能】 官能基をもつ化合物について、官能基をもつ化合物のこを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、官能基をもつ化合物について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	4編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 3章 芳香族化合物	【知識・技能】 有機化合物についての基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を生身に付けている。 【思考・判断・表現】 官能基をもつ化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。					13
	甲元「高分子化合物」 【知識及び技能】 高分子化合物について、高分子化合物のこを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、高分子化合物について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	5編 高分子化合物の性質 1章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物	【知識・技能】 高分子化合物についての基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を生身に付けている。 【思考・判断・表現】 高分子化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。					15
	定期考査							1
	甲元「共通テストに向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	問題演習	【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を生身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。					10
	定期考査							1
3 学 期	甲元「入試に向けた化学の総復習」 【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	問題演習	【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を生身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。					12
	定期考査							1
	合計							97

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物探究Ⅰ

教 科： 理科 科 目： 生物探究Ⅰ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 （選択者）

教科担当者： 矢島

使用教科書： 生物（東京書籍）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物探究Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元「動物の刺激の受容と反応」 【知識及び技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「刺激の受容から反応への流れ」 「ニューロンの興奮」 「興奮の伝導」 「興奮の伝達」 「刺激の受容と感覚」 「中枢神経系での情報処理」 「効果器」	【知識・技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	単元「動物の行動」 【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「動物の行動とは」 「刺激の受容と行動」 「学習のしくみ」	【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	単元「植物の環境応答」 【知識・技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「被子植物の生殖と発生」 「植物の一生の出来事と環境の影響」 「植物ホルモンと光受容体」 「環境要因による発芽の調整」 「根や茎の成長と環境要因の影響」 「気孔の開閉の調節と環境要因の影響」 「花芽形成と環境要因の影響」 「果実の形成と成熟のしくみ」 「器官の老化と脱落のしくみ」	【知識・技能】 植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16

2 学 期	単元「個体群と生物群集」 【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生態系からみた生物」 「個体群と環境」 「個体群の構造と成長」 「個体群の相互作用」 「種間の相互作用」 「個体群の成り立ちと多種の共存」	【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考查			○	○		1
	単元「生態系の物質生産と物質循環」 【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「食物連鎖と物質循環」 「生態系の物質収支と生態ピラミッド」	【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	単元「生態系と人間生活」 【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生物多様性」 「人間社会の変化と生態系」 「生態系の復元」 「人間は自然とどう付き合っているだろうか」	【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	「大学入試問題演習」 【知識・技能】 今までに学習してきた内容を振り返りながら、入試問題に対応できる力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 入試問題の文章を読み取る力、図・表を理解する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 各自が目標を定め、新たな問題、より難しい問題に挑戦する意欲と態度を養う。	「大学入試問題演習」 共通テスト対策	【知識・技能】 今までに学習してきた内容を振り返りながら、入試問題に対応する力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 入試問題特有の表現や初見の図や表を読み取る力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を定め、新たな問題、難易度の高い問題に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	定期考查			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物探究Ⅱ

教 科： 理科 科 目： 生物探究Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 （選択者）

教科担当者： 矢島

使用教科書： （ 生物（東京書籍） ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物探究Ⅱ の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	単元「生命の起源と細胞の進化」 【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「共通性と多様性をつなぐ進化」 「生命の誕生」 「生物の多様性と地球環境の変化」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	単元「遺伝子の変化と進化のしくみ」 【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「遺伝的変異」 「多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖」 「進化の定義と自然選択による進化」 「遺伝子レベルでみる進化」 「種分化」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	単元「生物の系統と進化」 【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生物の系統」 「生物の系統分類」 「霊長類のなかのヒト」 「人類の出現と変遷」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3

1 学 期	単元「細胞と物質」 【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「細胞を構成する成分」 「生体膜のはたらき」 「細胞の構造」 「タンパク質の構造」 「酵素としてはたらくタンパク質」 「生命現象とタンパク質」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				4
	定期考査			○	○		1
	単元「代謝とエネルギー」 【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「代謝とエネルギー」 「呼吸」 「発酵」 「光合成」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「遺伝情報とその発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「DNAの構造」 「DNAの複製」 「遺伝情報の流れ」 「RNAと転写」 「翻訳のしくみ」 「遺伝情報の変化」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				5

単元「発生と遺伝子発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「原核生物の遺伝子発現の調節」 「真核生物の遺伝子発現の調節」 「選択的遺伝子発現と細胞分化」 「動物の発生」 「胚の細胞の発生運命と遺伝子発現」 「発現現象と遺伝子発現の調節」 「動物の形と調節遺伝子の発現」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
単元「遺伝子を扱う技術」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「遺伝子を増幅する技術」 「塩基配列を解読する技術」 「遺伝子組換え技術の利用」 「遺伝子や細胞を扱う技術の課題」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
単元「動物の刺激の受容と反応」 【知識及び技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「刺激の受容から反応への流れ」 「ニューロンの興奮」 「興奮の伝導」 「興奮の伝達」 「刺激の受容と感覚」 「中枢神経系での情報処理」 「効果器」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
単元「動物の行動」 【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「動物の行動とは」 「刺激の受容と行動」 「学習のしくみ」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3

2 学 期	単元「植物の環境応答」 【知識・技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「被子植物の生殖と発生」 「植物の一生の出来事と環境の影響」 「植物ホルモンと光受容体」 「環境要因による発芽の調整」 「根や茎の成長と環境要因の影響」 「気孔の開閉の調節と環境要因の影響」 「花芽形成と環境要因の影響」 「果実の形成と成熟のしくみ」 「器官の老化と脱落のしくみ」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元「個体群と生物群集」 【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生態系からみた生物」 「個体群と環境」 「個体群の構造と成長」 「個体群の相互作用」 「種間の相互作用」 「個体群の成り立ちと多種の共存」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「生態系の物質生産と物質循環」 【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「食物連鎖と物質循環」 「生態系の物質収支と生態ピラミッド」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「生態系と人間生活」 【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生物多様性」 「人間社会の変化と生態系」 「生態系の復元」 「人間は自然とどう付き合っているのか」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

3 学 期	「大学入試問題演習」 【知識・技能】 今までに学習した内容を振り返りながら、入試問題に対応できる力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 入試問題の文章を読み取る力、図・表を理解する力、文章で表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 各自が目標を定め、新たな問題、より難しい問題に挑戦する意欲と態度を養う。	「大学入試問題演習」 私大対策 国公立二次対策 記述式問題対策	【知識・技能】 今までに学習してきた内容を振り返りながら、入試問題に対応する力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 入試問題特有の表現や初見の図や表を読み取る力、必要な内容をまとめて表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 目標を定め、新たな問題、難易度の高い問題に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	合計						
78							

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物実践

教 科： 理科 科 目： 生物実践 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 （選択者）

教科担当者： 矢島

使用教科書：（ 生物（東京書籍） ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物実践 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元「生命の起源と細胞の進化」 【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「共通性と多様性をつなぐ進化」 「生命の誕生」 「生物の多様性と地球環境の変化」	【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「遺伝子の変化と進化のしくみ」 【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「遺伝的変異」 「多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖」 「進化の定義と自然選択による進化」 「遺伝子レベルでみる進化」 「種分化」	【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「生物の系統と進化」 【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生物の系統」 「生物の系統分類」 「霊長類のなかのヒト」 「人類の出現と変遷」	【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5

1 学 期	単元「細胞と物質」 【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「細胞を構成する成分」 「生体膜のはたらき」 「細胞の構造」 「タンパク質の構造」 「酵素としてはたらくタンパク質」 「生命現象とタンパク質」	【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				5
	定期考査			○	○		1
	単元「代謝とエネルギー」 【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「代謝とエネルギー」 「呼吸」 「発酵」 「光合成」	【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	単元「遺伝情報とその発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「DNAの構造」 「DNAの複製」 「遺伝情報の流れ」 「RNAと転写」 「翻訳のしくみ」 「遺伝情報の変化」	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				6

単元「発生と遺伝子発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「原核生物の遺伝子発現の調節」 「真核生物の遺伝子発現の調節」 「選択的遺伝子発現と細胞分化」 「動物の発生」 「胚の細胞の発生運命と遺伝子発現」 「発現現象と遺伝子発現の調節」 「動物の形と調節遺伝子の発現」	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
定期考查			○	○		1
単元「遺伝子を扱う技術」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「遺伝子を増幅する技術」 「塩基配列を解読する技術」 「遺伝子組換え技術の利用」 「遺伝子や細胞を扱う技術の課題」	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
単元「動物の刺激の受容と反応」 【知識及び技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「刺激の受容から反応への流れ」 「ニューロンの興奮」 「興奮の伝導」 「興奮の伝達」 「刺激の受容と感覚」 「中枢神経系での情報処理」 「効果器」	【知識・技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
単元「動物の行動」 【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「動物の行動とは」 「刺激の受容と行動」 「学習のしくみ」	【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5

2 学 期	単元「植物の環境応答」 【知識・技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「被子植物の生殖と発生」 「植物の一生の出来事と環境の影響」 「植物ホルモンと光受容体」 「環境要因による発芽の調整」 「根や茎の成長と環境要因の影響」 「気孔の開閉の調節と環境要因の影響」 「花芽形成と環境要因の影響」 「果実の形成と成熟のしくみ」 「器官の老化と脱落のしくみ」	【知識・技能】 植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元「個体群と生物群集」 【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生態系からみた生物」 「個体群と環境」 「個体群の構造と成長」 「個体群の相互作用」 「種間の相互作用」 「個体群の成り立ちと多種の共存」	【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「生態系の物質生産と物質循環」 【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「食物連鎖と物質循環」 「生態系の物質収支と生態ピラミッド」	【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「生態系と人間生活」 【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生物多様性」 「人間社会の変化と生態系」 「生態系の復元」 「人間は自然とどう付き合っているだろうか」	【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 総合英語

教 科： 外国語 科 目： 総合英語 単位数： 2 単位
対象学年組：第 3 学年 組～ 組
教科担当者： 鈴木、松下、抱山、荒木田
使用教科書：（ Skyward COSMOS ）
教科 外国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中
【思考力、判断力、表現力等】知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で，

科目 総合英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，概念等として理解したり，技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で，自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕					
2 学 期	Unit 1 Unit 2	イギリス人の服装のセンス、および、ヨーロッパにおける農業の伝搬に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○			【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	5
	Unit 3 Unit 4	ある女性と2匹の猫、および、メディアによるステレオタイプ化の問題点に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○			【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	5
	中間考査							○	○		1
	Unit 5 Unit 6	安楽死と自殺ほう助、および、子どもの道徳性の発達に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○			【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	5
	Unit 7 Unit 8	動物園に対する賛否に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○			【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6
	Unit 9 Unit 10	現代史における3つの政治体制、および、サブリミナル広告に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○			【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6
	期末考査							○	○		1
2 学 期	Unit 11 Unit 12	お菓子の包装とゴミ問題、および、コペルニクス革命の本質に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○			【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6
	Unit 13 Unit 14	注意力を配分する技術、および、宇宙生物学の発展に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○			【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6
	中間考査							○	○		1
	Unit 15 Unit 16	エスカレーターの通行システム、および、アナログ時計とデジタル時計に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○			【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科 情報 科目 情報演習

教 科： 教科 情報 科 目： 情報演習

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

教科担当者： （ 大和 ）

使用教科書： （ 実教出版 情報 I ）

教科 教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深め入試に対応できる力を付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養い入試に対応できる力を付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養い入試に対応できる力を付ける。

科目 情報演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 情報社会の問題解決 【知識及び技能】 情報社会の問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付ける 情報技術が人や社会に果たす役割と影響、情報モラルなどについての理解 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会のを適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決し、望ましい情報社会の構築に寄与 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。 情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度	・情報の特性 ・メディアの特性、メディアリテラシー ・問題解決の考え方 ・知的財産権、産業財産権 ・個人情報 ・情報社会と情報セキュリティ ・ソーシャルメディア適切な活用 ・情報技術の発展と社会の変化	【知識・技能】 ・情報やメディアの特性を踏まえ情報技術を活用して問題の発見・解決できる ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する ・情報に関する法規や制度及びマナー意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについてそれらの背景を科学的にとらえ考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報と情報技術を適切に活用するとともに情報社会に主体的に参画する参画している ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察しようとしている	○	○	○	5
	B 単元 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴についての科学的な理解 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法について 【思考力、判断力、表現力等】 コンテンツを表現し、評価し改善する思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度 情報社会に主体的に参画する態度	・メディアの発達、コミュニケーションの形態や特性 ・アナログとデジタル ・情報の表現のしくみ ・情報デザイン ・コンピュータの基本的な構成 ・CPUによる演算 ・アルゴリズム ・プログラムを構成する要素 ・データ構造と配列	【知識・技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解している コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している 【思考・判断・表現】 メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択できる コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察できる 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善できる 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し評価し改善しようとしている	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元 コンピュータとプログラミング 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現、計算に関する限界などの知識 アルゴリズムを表現しプログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法についての知識と技能 【思考力、判断力、表現力等】 モデル化やシミュレーションなどの目的に応じてコンピュータの能力を引き出す思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする態度 ○結果を振り返って改善しようとする態度 ○生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとするなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする態度	・モデル化とは ・モデル化とシミュレーション ・コンピュータネットワークの構成 ・データ伝送の仕組みとプロトコル ・暗号化と情報セキュリティ	【知識・技能】 社会や自然における事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保する方法や技術について理解している 【思考・判断・表現】 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えることができる ネットワークにおける情報セキュリティ上の問題について適切な解決方法を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 モデル化やシミュレーションを通して問題解決を積極的に行い、改善しようとしているか。 ネットワークや暗号化の仕組みを理解し適切な行動ができているか。	○	○	○	5

2 学 期	D 単元 (1)情報通信ネットワークとデータの活用 【知識及び技能】 情報通信ネットワークや情報システムの仕組みについての知識 ○データを蓄積、管理、提供する方法、データを収集、整理、分析する方法、情報セキュリティを確保する方法についての技能 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを安全かつ効率的に活用する思考力・判断力・表現力 ○データを問題の発見・解決に活用する思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度 ○データを多面的に精査しようと 定期考査	・情報システム ・データベースの活用 ・データの収集と管理 ・データの分析	【知識・技能】 データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解している データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けた 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じて、通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えることができる 情報システムが提供するサービスの効果的な活用方法について考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 データの収集、整理、分析及び結果の表現方法を適切に選択し、実行し、評価し改善しようとしている	○	○	○	6
				○	○		1
2 学 期	情報社会の問題解決の入試問題演習 コミュニケーションと情報デザインの入試問題演習	・情報の特性 ・メディアの特性、メディアリテラシー ・問題解決の考え方 ・知的財産権、産業財産権 ・個人情報 ・情報社会と情報セキュリティ ・ソーシャルメディア適切な活用 ・情報技術の発展と社会の変化 ・メディアの発達、コミュニケーションの形態や特性 ・アナログとデジタル ・情報の表現のしくみ ・情報デザイン ・コンピュータの基本的な構成 ・CPUによる演算 ・アルゴリズム ・プログラムを構成する要素 ・データ構造と配列	【知識・技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めながら入試問題に対応できている。 【思考・判断・表現】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養いながら入試問題に対応できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養いながら入試問題に対応できている。	○	○	○	5
	コンピュータとプログラミングの入試問題演習 情報通信ネットワークとデータの活用入試問題演習	・モデル化とは ・モデル化とシミュレーション ・コンピュータネットワークの構成 ・データ伝送の仕組みとプロトコル ・暗号化と情報セキュリティ ・情報システム ・データベースの活用 ・データの収集と管理 ・データの分析	【知識・技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めながら入試問題に対応できている。 【思考・判断・表現】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養いながら入試問題に対応できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養いながら入試問題に対応できている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学 期	総復習		【知識・技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めながら入試問題に対応できている。 【思考・判断・表現】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養いながら入試問題に対応できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養いながら入試問題に対応できている。				4
合計							9

高等学校

令和6年度（3学年用）

教科

総合的な探究の時間

科目

総合的な探究の時間

教科

総合的な探究の時間

科目

総合的な探究の時間

単位数

1

単位

対象学年組

第 3 学年

1 組～

8 組

教科担当者

：（1組：二見）（2組：白井）（3組：佐藤）（4組：原田）（5組：今井）（6組：瀬治山）（7組：竹内）（8組：黒野

使用教科書

：（

）

教科

総合的な探究の時間

の目標

：
【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目

総合的な探究の時間

の目標

：
【知識及び技能】
地域や社会に関わる探究の過程において、日ごろの学習成果を活用しながら、地域や社会における課題に気づき解決へと導ける力を身に付けるとともに、身に付けた力を自己実現に結びつけられるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
地域や社会と自分自身との関わりの中から問いを見だし、情報を収集し分析する中で課題を設定し、仮説を立て、調査や実験などを通して検証する一連の手法を身に付けるとともに、探究の成果を論理的にまとめ・適切に表現する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
地域や社会に関わる探究活動に自ら考え行動するとともに、自他を尊び協働できる人間性と社会性を育て、社会の中で活躍し自己実現できる人材を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・課題研究を行う基本姿勢を理解することができる。 ・研究テーマに関係した基礎知識の内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループの生徒やメンターの教員と議論しながら研究結果を分析し、研究内容について文章にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら課題を発見し、課題を解決しようと調査・研究を主体的に進めることができる。	職業や上級学校に関する研究について、各自の課題を決定する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を理解できている。 【思考・判断・表現】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	10
		1学期の研究を踏まえ、各自まとめのレポートを作成し、教室内で発表する。その際相互批評も行う。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を理解できている。 【思考・判断・表現】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	8
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・課題研究を行う基本姿勢を理解することができる。 ・研究テーマに関係した基礎知識の内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループの生徒やメンターの教員と議論しながら研究結果を分析し、研究内容について文章にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら課題を発見し、課題を解決しようと調査・研究を主体的に進めることができる。	現代の問題に関する研究について、各自の課題を決定する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を理解できている。 【思考・判断・表現】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	10
		2学期の研究を踏まえ、各自まとめのレポートを作成する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を理解できている。 【思考・判断・表現】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	7
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・課題研究を行う基本姿勢を理解することができる。 ・研究テーマに関係した基礎知識の内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループの生徒やメンターの教員と議論しながら研究結果を分析し、研究内容について文章にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら課題を発見し、課題を解決しようと調査・研究を主体的に進めることができる。	1年間の研究の成果を生徒一人一人が発表し、相互批評をする。発表内容に対する講評をする。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を理解できている。 【思考・判断・表現】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	4
							合計 39